

令和8年 第3回 区づくり推進横浜市議員会議（青葉区）

次 第

日 時 令和8年9月24日（木）

15時40分 ～ 17時00分

1 開会

2 座長の選出

3 区長あいさつ

4 議事

- (1) 「令和7年度 個性ある区づくり推進費 決算」について . . . 資料1
- (2) 「令和8年度 個性ある区づくり推進費 執行状況」について . . . 資料2
- (3) 「令和9年度 青葉区予算編成の基本的な考え方（案）」について . . . 資料3

5 閉会

資料 1

令和 7 年度 個性ある区づくり推進費 決算

1 令和 7 年度 個性ある区づくり推進費 決算総括表

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	105,340,000	105,340,000	101,868,809	3,471,191
(2) 統合事務事業費	52,850,000	52,850,000	48,977,673	3,872,327
統合事務費	28,056,000	28,056,000	25,620,519	2,435,481
統合事業費	24,794,000	24,794,000	23,357,154	1,436,846
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	882,639,000	900,477,000	895,017,969	5,459,031
区庁舎管理費	197,915,000	197,915,000	198,672,608	▲ 757,608
区民利用施設管理費	684,724,000	702,562,000	696,345,361	6,216,639
合 計	1,040,829,000	1,058,667,000	1,045,864,451	12,802,549

(単位：円)

令和 7 年度歳入		
予算	決算	差引
280,000	15,840	264,160
4,239,000	4,229,754	9,246
240,000	180,000	60,000
3,999,000	4,049,754	▲ 50,754
25,956,000	20,229,230	5,726,770
7,090,000	6,651,996	438,004
18,866,000	13,577,234	5,288,766
30,475,000	24,474,824	6,000,176

※歳入は、広告料収入、公会堂・スポーツセンターの光熱水費振替分、自動販売機手数料等

2 令和7年度 自主企画事業費 事業別一覧

合計32事業

(単位：円)

事業		予算額	決算額	差引	ページ
1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち		18,449,000	17,955,819	493,181	5
1	乳幼児健康づくり事業	2,334,000	2,255,305	78,695	5
2	子育て支援事業	10,827,000	10,356,309	470,691	5
3	市立保育所の地域育児支援事業	1,540,000	1,528,153	11,847	9
4	青少年育成事業	806,000	880,605	▲ 74,605	10
5	障害児支援事業	346,000	342,875	3,125	11
6	児童虐待・DV対策事業	2,596,000	2,592,572	3,428	11
2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち		28,424,000	25,316,925	3,107,075	12
1	青葉区健康長寿のまちづくり支援事業	2,309,000	2,142,065	166,935	12
2	地域福祉保健推進事業	3,633,000	3,014,645	618,355	13
3	地域包括ケアシステムの推進	2,365,000	2,403,911	▲ 38,911	14
4	障害者ふれあい事業	2,212,000	2,151,948	60,052	16
5	快適で衛生的な暮らし支援事業	878,000	800,399	77,601	17
6	自治会町内会支援事業	2,141,000	1,730,331	410,669	19
7	あおば地域サポート事業	2,055,000	683,565	1,371,435	19
8	地域スポーツ振興事業	4,100,000	4,007,700	92,300	20
9	芸術文化振興事業	5,220,000	5,061,481	158,519	21
10	区民活動支援センター事業	3,511,000	3,320,880	190,120	22

事業		予算額	決算額	増 減	ページ
3 便利で魅力的な選ばれるまち		21,395,000	22,832,610	▲ 1,437,610	24
1	まちづくり・データ活用推進事業	8,139,000	7,335,812	803,188	24
2	商店街活性化・中小企業振興事業	1,445,000	966,922	478,078	25
3	青葉6 大学連携事業	905,000	903,272	1,728	25
4	地域での読書活動推進事業	700,000	690,528	9,472	26
5	区民サービス向上事業	2,580,000	2,317,446	262,554	26
6	利用しやすい区役所づくり事業	7,626,000	10,618,630	▲ 2,992,630	27
4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち		16,289,000	15,885,648	403,352	28
1	広報・広聴事業	1,985,000	1,820,136	164,864	28
2	青葉区民まつり事業	5,675,000	5,638,250	36,750	29
3	花と緑があふれる街事業	1,712,000	1,628,068	83,932	29
4	青葉区における都市農業の展開	1,650,000	1,551,786	98,214	30
5	メディアによる広報事業	5,267,000	5,247,408	19,592	31
5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち		20,783,000	19,877,807	905,193	32
1	郊外部における脱炭素化の促進	3,300,000	3,725,708	▲ 425,708	32
2	青葉まちの美化推進事業	2,994,000	2,743,528	250,472	33
3	地域防犯支援事業	1,599,000	1,350,195	248,805	34
4	交通安全対策事業	4,595,000	5,047,781	▲ 452,781	35
5	青葉区防災の街づくり事業	8,295,000	7,010,595	1,284,405	36
合 計		105,340,000	101,868,809	3,471,191	

1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	(予算:18,449,000 円 決算:17,955,819 円 差引:493,181 円)
1 乳幼児健康づくり事業 福祉保健課 (予算:2,334,000 円 決算:2,255,305 円 差引:78,695 円) 乳幼児期からの健康づくりを支援するため、う蝕（むし歯）予防及び乳幼児期の食育についての教室・講座を行いました。 (1) ニコニコピカピカ歯磨き教室（乳幼児歯科保健指導教室・個別相談） 乳幼児のう蝕予防に対する知識を普及するため、歯みがき指導・個別相談を行いました。 【実施回数：19 回、参加者数：309 組、実施場所：福祉保健センター、子育て支援拠点、地域ケアプラザ】 (2) 乳幼児の食育支援事業 乳幼児のころからの「食」を通した健康づくりの普及を図りました。講座を開催し、正しい情報を入手してより良い食行動に結びつくよう支援し、参加者にはリーフレットを配付しました。 ・離乳食スタート講座（4 か月～6 か月児） 【実施回数：24 回、参加者数：1,681 組】 ・離乳食教室の実施（7 か月～9 か月児） 【実施回数：12 回、参加者数：175 組】 ・離乳完了～幼児食の移行講座（1 歳～2 歳児） 【実施回数：32 回、参加者数：1,728 組】 ・幼児食育講座（3 歳～5 歳児） 【実施回数：34 回、参加者数：1,873 組】 ・リーフレット作成【1,800 部印刷】	
2 子育て支援事業 こども家庭支援課 (予算:10,827,000 円 決算:10,356,309 円 差引:470,691 円) 妊婦とそのパートナー及び子育て中の養育者の育児不安や孤立感を軽減し、安心して子育てができるよう、子育て支援の充実を図りました。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援者・機関と、連携・協働しながら進めました。 (1) つながりミーティング 地域における切れ目のない子育て支援の推進に向け、妊娠期から青少年期までの各分野における子育ての現状・課題や、それぞれの取組について共有する場を設けました。 ・実施回数：年 2 回 【第 1 回：7 月 参加者数 22 人】 【第 2 回：3 月 参加者数 20 人】 (2) 赤ちゃん教室 区内 18 会場で専門職による講話・指導を行い、地域での仲間づくりの機会の提供と初めての子育てに戸惑う保護者の支援を行いました。 ・実施回数：月 1 回（8 月、1 月を除く）×18 会場 ・実施場所：地区センター、地域ケアプラザ、自治会館等、区内 18 会場 ・対象：青葉区在住の第 1 子の 0 歳児とその保護者及び妊婦 【実施回数：180 回、参加者数：1,660 組 3,467 人】	

(3) 子育て情報提供

子育て情報提供員が区内の子育て情報を区民の皆様に窓口にて提供しました。

- ・子育て情報提供員：毎週月曜日～金曜日（8:45～17:00）※休庁日を除く

(4) 赤ちゃん休憩室

地域のボランティアと協働で、市営地下鉄あざみ野駅構内のスペースに親子が休憩等で利用できる場を提供しました。

- ・開所時間：毎週月曜日～金曜日（10:00～16:00、祝日含む）※年末年始を除く
- ・実施場所：市営地下鉄あざみ野駅改札口前スペース
- ・実施日数：256日

(5) 乳幼児健診ふれあい見守り保育

健診会場にてきょうだい児並びに受診対象者及びその保護者のサポート等を行いました。

- ・実施回数：毎月7～8回（年91回）

【ボランティア参加者数：204人】

(6) プレパパ・プレマクラス

赤ちゃんの抱き方や沐浴体験等を通じて、出産前から両親共に必要な知識を得て産前産後のイメージができるようになることで、安心して子育てができるようプレパパ・プレマクラスを実施しました。

- ・実施回数：合計25回（平日年6回、土曜日年19回）
- ・実施場所：区役所（平日及び土曜日）、地域子育て支援拠点ラフル（土曜日）出張プレパパ・プレマクラス/奈良地区（土曜日）

【実施回数：合計25回（平日6回（区役所）土曜日19回（うちラフル12回））、参加者数：291組（575人）】

(7) 子育て支援ネットワーク連絡会＜拡充＞

ア 全体会（区事務局会議）

区全体の課題を共有しネットワークの構築を図りました。

【実施回数：合計3回、参加者数：37人】

イ 地区別連絡会

地区の特性を踏まえ、より身近な地域でのネットワークが構築できるよう11か所のエリアに分けて開催しました。また、地域子育て支援拠点ラフルに連絡会の運営やエリアごとの課題解決に向けたサポートについて一部委託しました。

- ・実施場所：地域ケアプラザ

【実施回数：13回、参加者数：232人（171団体）】

ウ 関係機関向け研修会

子育て支援を担う関係者・関係機関が、支援を受ける人の立場や思いを理解し、頼られるスキルを身に着けるために、関係機関向けの研修会を行いました。

【実施回数：1回、参加者数：47人】

エ 出張子育て相談ひろば：年14回 ＜新規＞

地区別ネットワーク連絡会で話し合われた地域課題を踏まえ、子育て相談や遊び等を通じて養育者の孤立感や育児不安を軽減するための取組として、出張子育て相談ひろば「おでかけラフル」を町内会館や公園等で実施しました。地域子育て支援拠点ラフルに一部委託して行いました。

【実施回数：14回、参加者数：224人】

再配当事業 子育て支援者事業（こども青少年局）

「子育て支援者」に育児のちょっとした相談ができる遊び場「ほっこりんこ」については、地区センター等を活用し、区内16か所で週1回実施しました。【実施回数：711回、参加者数：10,332人】

「子育てしたいまち推進モデル地区」の取組の一環として、令和7年4月から、美しが丘公園こどもログハウスを追加し、毎週金曜日午前中に開催しました。

再配当事業 地域子育て支援拠点運営事業（こども青少年局）

地域子育て支援拠点による「出張ひろば（アウトリーチ型支援）」（※）については、令和2年度以降、神奈川区、港北区、戸塚区で先行実施しており、今後、充実の方向性が示されています。

青葉台駅の北に位置するたちばな台、桜台には親子が集える常設の居場所がなく、急激な人口増加が見込まれるエリアであるため、たちばな台町内会館をお借りして、地域子育て支援拠点ラフルが出張する「ふらっとラフルたちばな台」を毎週金曜日に実施しました。

※「出張ひろば（アウトリーチ型支援）」とは

- ・妊婦や親子が事前予約なしで利用できる地域子育て支援拠点以外の居場所
- ・1日5時間以上、かつ週1日以上実施するもの

【実施回数：51回、参加者数：592組 計1,300人】



「あおバリューTV」（令和7年7～9月放映中）

局事業 親と子のつどいの広場事業（こども青少年局）

未就学児とその保護者が気軽に集う居場所の一つである「親と子のつどいの広場」については、マンションの一室等で、NPO法人などの市民活動団体が区内7か所にて運営中です。

令和7年度は、市が尾駅から約1キロ以上ある市ケ尾町内（東市ケ尾小学校付近）で、親と子のつどいの広場「おやこの広場はないろ」を開所しました（12月）。

(8) こどもの育ち応援事業＜拡充＞

見通しをもった育児ができることで、養育者の育児不安が緩和され、子どもが健やかに育つことを目指して、養育者向けの講座を実施しました。また、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人の養育者と子どもを対象としたこんにちは赤ちゃん訪問を実施しました。

ア 親育ち講座：年3回

幼児期の発達に応じた親の関わり方の具体的な方法を学ぶ講座を開催しました。【実施回数：3回、参加者数：42人】

イ 妊娠期からのメンタルヘルス講座：年2回

安心して出産・育児が出来るよう、妊娠中や産後の心の変化について精神科医から学ぶ講座を実施しました。妊娠中で体調がすぐれない場合でも気軽に受講できるようWEB形式で開催しました。【実施回数：1回、参加者数：53人 ※1回は講師の都合で中止】

ウ 子育て相談ひろば「にこにこ」：年12回

1歳6か月児健診時にこどもの発達に不安があった養育者を対象に、対面による相談の機会をつくり、その後の経過を確認し、必要な支援につなげました。また、家庭内でのより良好な関わりが持てるよう、遊びを通じた発達の促し方等を紹介しました。

・対象：子どもの発達に不安がある概ね1歳9か月から2歳3か月までの子どもと養育者

【実施回数：12回、参加者数：108人】

エ 小児科医による講演会：年1回（2部制）

安心して育児ができるよう、地域の小児科医師から、「①小児のアレルギーについて」、「②日常に起こりやすいケガ予防」などについて学ぶ講演会を開催しました。乳幼児がいても気軽に受講できるようWEB形式で開催しました。

・対象：0歳から3歳までのこどもを子育てしている方や妊婦の方

【視聴者数：①101人 ②84人、アーカイブ配信延べ視聴回数：95回】

オ 外国人パパママこんにちは赤ちゃん訪問：年12件

外国語を話せるボランティア等による訪問を実施しました。【訪問件数：16件】

カ 産前産後のからだケア：年34回 ＜新規＞

養育者の心身のリフレッシュと産後うつ予防に向けて、育児に関する身体の使い方やトラブル・痛みを予防する姿勢づくりのためのストレッチを指導する機会を設けました。

【実施場所（通年）：地域子育て支援拠点、子育て支援者会場、親と子のつどいの広場、実施回数：34回、参加者数：157人】

(9) 子育て情報発信事業＜拡充＞

子育て世代が地域とつながり、孤立することなく子育てできるよう、地域に密着した情報を発信するために地域子育て支援拠点のホームページを7月31日から拡充しました。区の子育て情報発信アプリ「Aonico」については、「パマトコ」が横浜市のイベント情報の発信や各種オンライン申請もできることを踏まえて、9月に終了し、「パマトコ」へ一本化しました。

【青葉区子育て情報：7月31日から地域子育て支援拠点ホームページを拡充して発信】

3 市立保育所の地域育児支援事業 こども家庭支援課

(予算:1,540,000 円 決算:1,528,153 円 差引:11,847 円)

市立保育所が、妊婦や在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を中心に、ニーズに合わせた「つながり」を作る育児支援を実施し、子育ての不安や悩みの解消や家庭での育児力の向上を図りました。

(1) 保育園子育てスマイル事業

ア 園庭開放・育児講座

公立園の施設を地域に開放し、保育士及び保育ボランティアとの交流やノウハウの提供を通じて、地域における育児力の向上を図りました。

- ・園庭開放：①美しが丘保育園 5日/週
②荏田保育園 5日/週
③奈良保育園 2～3日/週
④すすき野保育園 3日/週

・育児講座：4園合計 15回/年程度

【園庭開放：実施回数 666回、参加者数 保護者等680人・未就学児 796人（4園合計）

育児講座・交流保育：実施回数 30回、参加者数 保護者117人・未就学児118人（4園合計）】

イ 育児相談・子育てトーク

個別具体的な育児に対する悩みや不安の解消に向け、公立保育園での保育士との対面・電話での相談を行いました。

- ・育児相談：美しが丘保育園・荏田保育園 5日/週、奈良保育園・すすき野保育園 1日/週

【育児相談：実施回数 926件（対面606件・電話320件）】

ウ 育児支援事業

Instagram「おかわりなしちゃんねる」にて、保育園の日常や家庭で役に立つ子育て情報、区内保育園の紹介等を月数回さまざまな内容で配信しました。これまで配信してきたYouTubeチャンネル「なしちゃんねる」を教材的に活用し、育児支援イベントを開催することで、子育てを楽しみ、つながり合える環境整備を図りました。市立保育所だけでなく、民間保育園や区内施設等との連携を推し進め、地域で子育てを応援する体制の構築を図りました。

- ・Instagramの配信：2～3回/月 【Instagram配信回数：53回】

- ・育児支援イベント：3回/年（エリアでの開催を含む）【開催回数：6回】

エ 保育所給食体験

地域の乳幼児が園児と一緒に保育園の給食を体験することにより、食を通じた乳幼児の健全育成を図りました。

- ・提供食数：年40食 【実績：76食】

- ・実施場所：市立保育所4園



青葉区公式 Instagram「おかわりなしかちゃんねる」



子育て中の保護者の方向けに、保育園で人気の給食レシピや公立保育園の園庭開放、育児講座のお知らせ等を配信しています。保育園の紹介や保活に関する情報も随時更新しています。

4 青少年育成事業 こども家庭支援課

(予算:806,000 円 決算:880,605 円 差引:▲74,605 円)

学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図りました。また、地域や施設における連携のもとでの支援を一層促進し、地域で青少年を見守る風土を醸成しました。

(1) 保護者向け講演会の実施

小1の壁の不安軽減につながる講演や参加者同士の交流を通じて、孤立しない子育て環境づくりを推進しました。

【実施時期：9月

実施場所：区役所及びWEB

参加人数：区役所52人、WEB57人、キッズ・学童遊び体験35人】

(2) 多世代交流等による青少年育成事業

青少年の地域活動拠点と連携し、中学生・高校生・大学生ボランティアによる小学生を対象とした学習支援「みんなの学習室」を実施し、小学生の多世代交流の機会を提供しました。

【実施時期：夏休み、冬休み、春休み、実施回数：計24回、実施場所：青少年の地域活動拠点、地域ケアプラザ、地区センター等7か所、

参加人数：小学生158人、中高大学生ボランティア120人】

5 障害児支援事業 こども家庭支援課	(予算:346,000 円 決算:342,875 円 差引:3,125 円)
発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童とその養育者や支援者を対象に啓発を進め、適切な支援につなぎました。また、地域資源をまとめた「きらきらマップ」等を活用し、養育者と支援者、支援者同士、さらに地域も含め連携を深めました。 (1) 研修会開催 当事者・支援者・学校・地域の方々がつながり続けられるよう連携強化を図りました。また、支援者向け研修を実施しました。 【実施回数：2回、参加者数：74人】 (2) 地域資源マップ 障害児とその養育者が、より地域とつながるきっかけを得られるよう、地域資源をまとめた「きらきらマップ」について、新規開設事業所の追加等、最新の情報を掲載するため改訂しました。 【作成部数：1,500 部（作成時期：3月）】	
6 児童虐待・DV対策事業 こども家庭支援課	(予算:2,596,000 円 決算:2,592,572 円 差引:3,428 円)
児童虐待やDVなど不適切養育を防止するため、児童虐待防止対策や女性福祉相談の支援を強化しました。 (1) 児童虐待対策事業 ア 保育施設職員向け研修会（年1回） 養育不安、相談へ迅速・適切に対応できるよう、保育施設職員向けに研修会を実施しました。 【実施回数：1回、実施時期：12月、実施場所：区役所およびオンライン、参加人数：54人】 イ 支援強化検討会（区職員向け研修会）（年2回） 虐待対応の専門性を高めるための研修会を実施しました。 【実施回数：2回（第1回：実施時期1月 参加人数24人）（第2回：実施時期3月 参加人数17人）】 ウ 見守り保育付き相談＜拡充＞ 相談等が気軽にできるよう、見守り保育を実施しました。 ・実施時期：通年 ・実施回数：週3回程度（4月～3月、ただし年度始め等は週5回実施） 【実施回数：166回、利用人数：2,479人】 (2) DV専門相談 DVや離婚に詳しい弁護士による法律相談を実施し、DV被害者が抱える離婚や親権等の法的問題について、専門的知見からの支援を行いました。 ・実施回数：月2回（年24回） 【実施回数：24回、相談件数：33件】	

2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち

(予算:28,424,000 円 決算:25,316,925 円 差引:3,107,075 円)

1 青葉区健康長寿のまちづくり支援事業 福祉保健課

(予算:2,309,000 円 決算:2,142,065 円 差引:166,935 円)

「あおばに住んで、健康、長生き」を実感できるよう、区民の皆様が身近なところで気軽に実践できる健康づくりの取組を展開しました。

(1) 健康フェスティバル事業

保健医療・生活衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催しました。

【実施日：11月3日、参加者数：6,689人】

(2) ウォーキング普及啓発事業

保健活動推進員会等と連携し、ウォーキングの普及啓発を行いました。

ア 地域での活動の企画・運営支援

(ア) 保健活動推進員向け研修

【実施日：7月3日、参加者数：32人】

(イ) 各地区での活動の企画・運営支援

・保健活動推進員ウォーキング部会における知識・技術の共有

【実施回数：5回】

(ウ) ウォーキングイベント

・保健活動推進員と連携したウォーキングイベントの実施

【実施日：3月7日、参加者数：74人】

イ 区民向け情報提供ウォーキングマップの改訂・印刷

・新規ウォーキングコースの作成【1コース・3,000部印刷】

・既存コース改訂・増刷【21コース・14,600部印刷】



ウォーキングの様子(R8.3)

(3) 食育推進普及啓発事業

食育啓発事業

健康づくりに役立つ、食を中心とした講習会及び啓発動画の作成を食生活等改善推進員会に委託して実施しました。また、食事バランス向上に向けた野菜摂取促進の啓発を行いました。

・講習会【実施回数：10回、参加者数：822人】

・動画作成【啓発動画：1本作成、3月公開】

2 地域福祉保健推進事業 福祉保健課

(予算:3,633,000 円 決算:3,014,645 円 差引:618,355 円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域と協働して課題解決に取り組み、身近な地域で支えあいの仕組みづくりを進めることを目的に策定した第4期青葉区地域福祉保健計画（青葉かがやく生き生きプラン）（3年度～7年度）を推進しました。また、第5期地域福祉保健計画を策定しました。

（1）地域福祉保健推進会議

区内の福祉・保健・医療等の各分野の代表者及び学識経験者で構成し、青葉区の地域福祉保健関係事業の推進について幅広く協議するとともに、地域福祉保健計画の推進・評価に関して意見交換を行いました。

・実施回数：年2回（上半期1回、下半期1回） 【実施日：8月（資料送付のみ）、3月11日】

（2）地域福祉保健計画策定・推進検討会

青葉区地域福祉保健計画の推進に携わっている各種団体及び学識経験者で構成し、各地区別計画推進会議で進めている取組や課題となる事項等を共有するとともに、区域全体の取組や課題を検討しました。

・実施回数：年2回（上半期1回、下半期1回） 【実施日：7月17日、12月19日】

（3）福祉保健活動事例発表会

青葉区地域福祉保健計画を広く周知するとともに、地区別計画における地区の取組事例の発表会を開催しました。

・実施回数：年1回（社会福祉大会と同時開催） 【実施日：12月10日】

（4）地区サポートチーム研修

青葉区地域福祉保健計画地区別計画の推進にあたり、地区サポートチームを対象とした研修会を実施しました。

・実施回数：地区サポートチーム研修 年1回以上実施

地区サポートチーム会議 各地区年3回実施

【地区サポートチーム研修：実施日 6月6日、参加者 64人】

（5）地域福祉保健計画の啓発・推進＜拡充＞

第5期地域福祉保健計画の策定を行うとともに、第4期計画の取組推進及び最終評価に向けた振り返りを行いました。

【作成部数：冊子3,000部、概要版6,500部、中学生版12,500部】 【作成時期：3月（公表 4月）】

【第5期計画素案の意見募集実施：8月25日～10月10日】

（6）青葉ふれあい見守り事業

概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の世帯等への月1回程度の訪問や見守り活動を、地区民生委員が中心となり保健活動推進員等と協力して実施しました。

民生委員が欠員となっている地区の見守り活動等に補助金を交付し、民生委員の負担軽減を図りました。

・対象世帯数：約1,500世帯 【訪問回数：18,747回】

・代表者会議：年1回 【実施日：2月2日】

・見守り活動の実施（随時）

・欠員区域：26区域（全299区域、令和7年度末時点）

【欠員区域の補助金申請区域数：9区域】



福祉保健活動事例発表会の様子(R7.12)

3 地域包括ケアシステムの推進 高齢・障害支援課

(予算:2,365,000 円 決算:2,403,911 円 差引:▲38,911 円)

超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、必要なサービスを切れ目なく提供するための「地域包括ケアシステム」の取組を推進しました。

(1) シニアの社会参加推進事業

e スポーツを活用した高齢者の社会参加促進に向けた事業展開を行うとともに、かがやきクラブ青葉の活性化を支援しました。

ア 高齢者向け e スポーツ事業＜拡充＞

e スポーツを活用した高齢者の社会参加促進や通いの場づくりを目的に、地域団体や区内施設等と連携し、e スポーツの普及啓発及び地域での自主的な実施に向けた体験会や講座を実施しました。

- ・実施時期：通年
- ・実施場所：区内各所 【実施回数：4回】
- ・シニア e スポーツフェスタ 【開催回数：1回】

また、e スポーツの楽しさや手軽さを効果的に伝えるためのロゴ及び動画を作成し、e スポーツに取り組む団体の拡大を図りました。

【ロゴ作成：7月、動画作成：9月】



シニア e スポーツフェスタの様子 (R8.2)



ロゴ

イ 高齢者生きがいがづくり支援事業

「かがやきクラブ青葉」（青葉区老人クラブ連合会）の活動支援を通じて、高齢者の生きがいがづくりや仲間づくりを推進しました。

【シニアいきいき芸能大会：実施時期 11月22日、実施場所 青葉公会堂】

ウ 敬老祝品贈呈事業

区内男女最高齢者に区から祝状を贈呈しました。

【実施時期：敬老月間（9月）】



シニアいきいき芸能大会 (R7.11)

(2) 高齢者支援事業＜拡充＞

地域包括ケアシステムの推進を目的に、青葉区の特性を踏まえた高齢者の健康づくり・介護予防、医療・介護連携、認知症施策等を推進しました。

ア 医療・介護連携促進

医療と介護の連携促進を目的として、多職種による「顔の見える場づくり会議」を引き続き開催し、連携強化に向けた検討・情報共有を行いました。会議の実施にあたっては、WEB会議による実施も継続しました。

- ・内容：多職種連携による支援のための情報共有 等
- ・実施方法：実地開催及びWEB開催
- ・実施回数：年4回、
- ・参加団体：区内医療・介護関係機関代表者等（21団体）

イ 認知症施策推進事業

認知症になっても安心して暮らすことができるまちを目指し、見守りネットワークの強化や啓発活動等を推進しました。

(ア) 青葉区高齢者安心ネットワーク

認知症に対する理解促進及び地域の見守り体制づくりの促進のため、認知症の人にやさしい声かけや気配りを行うお店や施設を「認知症フレンドリー協力機関」として登録・周知し、希望する店舗等には登録ステッカーを配付しました。

- ・認知症フレンドリー協力機関登録ステッカーの作成：1,200 枚
- ・認知症フレンドリー協力機関登録周知チラシの作成：2,000 枚
- ・高齢者安心ネットワーク連絡会の開催：年1回

【実施時期：5月29日、参加者：地域包括支援センター、警察、消防、民児協等（14名）】

(イ) 認知症支援・啓発活動の実施 <拡充>

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を応援する「認知症サポーター」を増やす取組である「認知症サポーター養成講座」で講師役となる「認知症キャラバン・メイト」の活動を支援しました。「キャラバン・メイト連絡会」でメイト同士連携を深め、活動の充実が図れるよう支援しました。また、世代を問わず広く普及啓発を進めるために映画上映イベントを新たに実施しました。

【キャラバン・メイト活動支援】

- ・オレンジリング購入 1,200 個。学生向けのサポーター養成講座で配布。
- ・キャラバン・メイト連絡会 年2回【第1回：6月 参加者数30人、第2回：1月 参加者数32人】

【映画イベント】

- ・実施時期：10月4日 ・実施場所：青葉公会堂 ・参加者数：354人 ・タイトル：長いお別れ
- ・イベント広報チラシ作成：4,000 枚



10月4日映画イベントチラシ

再配当事業 主な事業（健康福祉局）

(1) 介護予防事業

- ・介護予防普及啓発事業（フレイル予防講演会）・介護予防把握事業（JAGES活用研修会）
- ・地域介護予防活動支援事業（ハマトレキャスト養成講座、リハ職との情報交換会）
- ・元気づくりステーション事業 等

(2) 認知症支援事業

- ・もの忘れ相談：年12回、精神科嘱託医師による面接・訪問による相談の実施
- ・認知症初期集中支援チーム事業：横浜総合病院と連携した対象者支援、検討委員会の開催 等

(3) 医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療・介護連携研修の実施 等

(4) 市民の意思決定支援事業

- ・成年後見サポートネット：専門職会議の開催（年4回）と市民後見人活動の支援
- ・エンディングノート普及啓発：各地域ケプラザでの啓発講座支援

4 障害者ふれあい事業 高齢・障害支援課

(予算:2,212,000 円 決算:2,151,948 円 差引:60,052 円)

当事者・支援者・地域の方々がつながることで適切な支援に結びつくよう、地域の支え合いによる障害者支援の充実及び障害者の社会参加を支援する事業を実施しました。

(1) 障害児者福祉普及啓発事業

障害福祉に関する普及啓発講演会・研修・事業等を実施しました。

ア 重症心身障害児者普及啓発事業

重症心身障害児者や医療的ケアを必要とする方やご家族が、地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、前年度の30周年記念事業で好評であったユニバーサル野球イベントを実施しました。

・実施回数：1回

イ 精神保健福祉普及啓発事業

精神疾患に対する理解促進を目的に講演会を実施しました。

令和7年度は発達障害に関する連続講座を実施しました。

・実施回数：3回

・実施時期：12月、1月、2月



ユニバーサル野球イベントの様子 (R7.11)

コラム ユニバーサル野球

障害のある人もない人も一緒に楽しめるよう開発された、大型の野球盤を用いたスポーツです。

バッターボックスに立つと、まるで野球場にいるような臨場感が味わえ、身体に麻痺のある方や、筋力の弱い方でも野球を楽しむことができます。

(2) 障害児者支援事業

障害者とボランティアの農を通じた交流であるふれあい農園事業を継続して実施しました。

区内の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等をまとめた当事者向け冊子『あおばでくらす』と、自主製品販売事業所の紹介冊子『青葉のモノ語り』を作成してきましたが、令和7年度は区民の皆様に取り手に取りやすくするため、『あおばでくらす』に『青葉のモノ語り』を1冊に統合しました。

その他、障害者手帳交付時の区役所滞在時間を短縮し、またご自宅等でもご希望に応じた制度やサービスが確認できるような動画コンテンツを作成しました。

ア ふれあい農園

障害者と区民ボランティアの農を通じた交流を支援しました。

・実施時期：通年（毎週木曜日）

・実施場所：農園所在地 下谷本

【参加者数（月平均）：35人（内訳・当事者8～10人、ボランティア28～30人）】



ふれあい農園での活動の様子 (R7.11)

イ 「あおばでくらす」を配布

区内の障害福祉に関する相談窓口とサービス提供事業所や自主製品の紹介をまとめた冊子を作成し配布しました。

- ・作成部数：3,000部
- ・作成時期：2月

ふれあいマルシェの販売の様子（R7.9）



ウ 「ふれあいマルシェ」における自主製品販売促進

障害者施設が作る自主製品販売の機会を拡大するため、区役所で展開する「ふれあいマルシェ」における出店に係る活動を支援しました。

エ 障害者手帳交付時の説明動画作成＜新規＞

お客様の待ち時間の短縮及び、場所や時間を問わずに閲覧できることを目的に、障害者手帳に関する制度説明動画を作成しました。

- ・作成時期：9月

再配当事業

○精神保健福祉対策事業（健康福祉局）・精神保健相談：年12回、精神科嘱託医による面接・訪問による相談を実施

- ・精神障害者生活教室：年24回、区役所で社会復帰への適応の促進や再発予防・早期発見を目的とした集団援助活動を実施。
- ・精神障害者家族教室：年6回、当事者を支える家族の学習・交流の場を提供

○障害者虐待防止対策支援事業（健康福祉局）

- ・青葉区自立支援協議会権利擁護研修委員会主催 支援者向け研修：年1回

○トップスポーツチーム連携事業（にぎわいスポーツ文化局）

- ・日体大 SMG 横浜、東急 S レイエス FC とのサッカー体験イベント：年1回

5 快適で衛生的な暮らし支援事業 生活衛生課

（予算：878,000円 決算：800,399円 差引：77,601円）

日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組むとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援しました。

（1）食品衛生普及啓発事業

飲食店や家庭、地域行事等における食中毒などの食品事故発生防止のため、自主衛生管理を推進しました。

また、社会福祉施設、食事サービス実施団体等に対し、衛生管理支援を行いました。

ア 食品衛生責任者実務講習会

実施時期：8月から12月（5回）【参加者数・166人】

イ 営業者、区民の皆様等への食中毒予防啓発、自主衛生管理推進

啓発内容：家庭での食中毒に気を付けよう！

- ・広報よこはま青葉区版掲載（6月号）

- ・パネル展
山内図書館：6月17日～30日
青葉区役所：8月25日～29日
健康フェスティバル：11月3日
- ・チラシ配布 通年
- ・食中毒予防啓発に関するホームページ情報の更新（6月）
【実施内容：食中毒キャラクター及び食中毒予防ポイント等の掲載】
- ・青葉区公式 SNS による食中毒予防啓発
【実施内容：X での投稿（8回）】



食中毒予防パネル展（R7.8）

ウ 高齢者施設、保育所、高齢者食事サービス実施団体、こども食堂等への個別衛生管理支援

- ・感染症発生時の食中毒予防支援：通年【対応回数：27回】
- ・こども食堂実施団体向け出前衛生講習会：5月【参加者数：38人】
- ・ボランティア給食団体向け衛生講習会：2月【参加者数・25人】

（2）動物の適正飼育推進事業

犬猫の飼育にかかるトラブルの減少と健康的な終生飼育が行われるよう、適正飼育に関する啓発、相談を実施しました。また、区民から相談の多いハチやネズミ等に関する啓発や防除物品の貸出等を行いました。

ア 犬猫の適正飼育に関する苦情・相談対応

- ・実施時期：通年【件数：375回】

イ マナー啓発

- （ア）広報よこはま青葉区版掲載
・実施時期：3月
- （イ）区役所展示スペースでのパネル展
・実施時期：9月22日～26日
- （ウ）広報車によるマナー啓発（ふん尿の持ち帰り、リードの持ち方等）
・実施時期：通年
【実施回数：9回】
- （エ）狂犬病予防注射集合会場での啓発
・実施時期：4月
【実施回数：4回、チラシ配付部数：540枚】
- （オ）健康フェスティバルでの啓発
【実施時期：11月3日】



食中毒キャラクター（ホームページ掲載）



マナー啓発パネル展（R7.9）

(カ) 青葉区公式 SNS による啓発

【実施内容：X での投稿（1 回）】

ウ ハチ、ネズミ等の防除に関する相談、物品の貸出

(ア) 広報よこはま青葉区版掲載

・実施時期：5 月（ハチ等）、2 月（ネズミ）

(イ) 物品の貸出

・実施時期：通年

【捕鼠かご貸出・18 件、ハチ防護服貸出・18 件】

6 自治会町内会支援事業 地域振興課

(予算:2,141,000 円 決算:1,730,331 円 差引:410,669 円)

地域の抱える課題を解決していくため、自治会・町内会を中心とする地域団体と行政との連携を推進しました。

自治会・町内会連携促進事業

ア 青葉区連自治会長会定例会

自治会・町内会との連携強化のため、8 月と 12 月を除き、毎月情報提供を行いました。

・実施時期：8 月及び 12 月を除く毎月

【実施回数：10 回】

イ 自治会町内会長感謝会

日頃から地域社会の振興に多大な役割を果たし、市政・区政にご協力していただいている自治会・町内会長の皆様のご尽力に感謝の意を表するため、「自治会・町内会長感謝会」を開催しました。

【実施日：3 月 3 日、会場：MELONDIA あざみ野】

7 あおば地域サポート事業 地域振興課

(予算:2,055,000 円 決算:683,565 円 差引:1,371,435 円)

区民の皆様が地域に踏み出すきっかけづくりと地域のつながりづくりに取り組み、地域活動の活性化を図りました。また、区民の皆様が地域活動に主体的・継続的に取り組めるよう支援しました。

令和6年度まで実施してきた「青葉みらいづくり大学校」の実績や効果を踏まえ、参加者層を広げ、より地域ニーズに合った、地域課題解決応援事業「あおばちえのわ」に転換しました。

(1) 地域課題解決応援事業「あおばちえのわ」＜新規＞

地域活動のヒントとなる事例の共有や活動団体同士の交流を目的とする講座を開催し、課題解決やつながりづくりを行いました。

・対象：区内で地域活動を行っている人・団体

【実施回数：4 回（8 月、10 月、12 月、2 月）、参加人数：61 人】

(2) あおばスタート補助金

地域課題の解決や既存の取組の拡大を行う団体を対象に、自治会町内会と連携・協力して実施する地域課題解決の取組を支援するため、補助金を交付しました。

【交付決定件数：2件】

(3) 区民利用施設交流会

地域情報や課題の共有を促すために、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスなどの区民利用施設を対象に交流会を開催しました。

【実施日：9月25日、参加人数：26人（25施設）】

(4) 青葉みらいづくり大学校

青葉みらいづくり大学校卒業生の地域活動の伴走支援として、コーディネーターを交えた卒業生同士の交流会（同窓会）を開催しました。

【実施日：6月28日、参加人数：9人】

8 地域スポーツ振興事業 地域振興課

(予算:4,100,000円 決算:4,007,700円 差引:92,300円)

区民の皆様の協力を得て行う参加型スポーツイベントの実施等、スポーツを通じた地域のつながりの形成・活力ある地域づくりの促進に努めました。また、地域におけるスポーツ振興を担うスポーツ協会の活動を支援しました。

(1) スポーツ振興イベント（区民マラソン大会）

地域住民、各団体との協働により青葉区在住・在勤・在学者を対象とした区民マラソン大会の開催を支援するため、運営委員会に対し、補助金を交付しました。

・第12回青葉区民マラソン大会

【実施日：11月30日、参加者募集：受付初日に定員満了、出走者：987人（男性807人、女性180人）】

(2) スポーツ振興イベント（トップスポーツチーム連携事業）＜拡充＞

市内トップスポーツチーム（横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ、横浜キヤノンイーグルス、横浜F・マリノス）と連携し、普段スポーツに興味のなかった層にも観戦に来てもらえるような催しを交えた区民ディを開催しました。子どもたちがチームからレクチャーを受けるなど、身近にスポーツに触れる機会を創出しました。

【・横浜DeNAベイスターズ 野球体験イベント：10月18日、参加者数49人、
・横浜ビー・コルセアーズ 区民試合観戦企画：12月13日、参加者数199人、
・横浜キヤノンイーグルス 区民試合観戦企画：1月24日、参加者数：881人、
・横浜F・マリノス eスポーツ研修：2月3日、参加者数：17人】

(3) スポーツ協会補助金

区民の皆様が参加できる各種スポーツ大会・講習会の開催や生涯スポーツの振興に向けた活動を行う、青葉区スポーツ協会に対し補助金を交付しました。

【交付時期：6月】

9 芸術文化振興事業 地域振興課

(予算:5,220,000円 決算:5,061,481円 差引:158,519円)

区内で芸術文化活動を行う団体に補助金を交付し、協働して区民が創作・発表・観賞等ができる事業を展開しました。また、青葉区の財産であるアート資産などを生かし、魅力として発信しました。

(1) 青葉区民芸術祭事業

青葉公会堂やアートフォーラムあざみ野などの身近な施設で、区民が参加や鑑賞する様々な芸術文化の発表の場を作り、身近なものとして関心を高め親しむ機会としました。

- ・青葉コーラスのつどい（7月）
- ・青葉区民音楽祭（11月～12月）
- ・青葉区民芸能祭（12月）
- ・青葉区民作品展（11月～12月）

【青葉区民芸術祭運営委員会の開催：全2回開催、
青葉コーラスのつどい：7月6日、出演団体数：46団体、来場者数：1,466人、
青葉区民音楽祭：全4回、出演団体数 8団体、来場者数 2,591人、
青葉区民芸能祭：2日間、出演団体数 40団体、来場者数 1,659人、
青葉区民作品展：12日間、出品数 363点、来場者数 2,570人】

(2) 区民ホールコンサート事業

お昼のミニコンサートのほか、小学生から高校生までがフィリアホールでのオーディションを経て出演するジュニアフェスティバルを開催し、音楽に親しむ機会を提供しました。

- ・お昼のミニコンサート（プロの音楽家の演奏）（毎月第3水曜日（5月・8月を除く））
- ・ジュニアフェスティバルオーディション（5月）
- ・ジュニアフェスティバル（8月）

【お昼休みのミニコンサート：全10回、来場者数：1,513人、
ジュニアフェスティバルオーディション：5月10日、出演者数 28組 33人、
ジュニアフェスティバル：2日間、出演者数 7人、来場者数 182人】

(3) シニアコンサート事業

高齢者がフィリアホールで自らの演奏発表の場を得ること、またその姿を身近で応援することで地域の活性化と区民の健康長寿に寄与しました。

- ・「65歳からのアートライフ」演奏会（7月、2月）

【実施回数：2回、来場者数：400人】

(4) 郷土の歴史を未来に生かす事業

青葉区の歴史の伝承と郷土愛の醸成を目的に歴史に関する講座や講演会などを実施し、地域の歴史文化に触れる機会を提供しました。

- ・青葉のあゆみ歴史探訪講座（6～1月）【実施回数：8回（連続講座）、受講者数：68人】
- ・青葉のあゆみ連続歴史講演会（11月、2月）【実施回数：2回、受講者数：121人】

(5) あおば美術公募展事業＜拡充＞

アートフォーラムあざみ野を活用し、区民の美術に親しむ心と創造意欲を育み、交流の機会を提供することで、一層の文化・芸術振興を図りました。
開催10周年となるため賞の拡充等を行いました。（7月）

【展示期間：9日間、出品者数：119人（172点）、入選作品数：140点（うち26点表彰）、来場者数：2,282人】

(6) AOBAデジタル・アートミュージアム

区Webページで、青葉区のアートの魅力を発信しました。

【区Webページ公開開始：4月、同ページへの区内作品マップ掲載】

10 区民活動支援センター事業 地域振興課

（予算：3,511,000円 決算：3,320,880円 差引：190,120円）

区内の市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域活動の担い手を育成し、地域のつながりづくりを推進する事業を実施しました。

(1) 区民活動支援センター事業

区民がまちで生き活きと活動し、まちを元気に魅力的にする“まち活”をキーワードに、区民の学びや出会い、交流の場を提供するとともに、市民活動に携わる様々な分野の人や団体が活動の幅を広げる場を創出、つながりづくりを支援しました。

ア 相談・コーディネート・情報提供

市民活動・生涯学習に関する相談を受け付け、区内で活動する団体や生涯学習に関する講師等について、情報発信及びコーディネートを行いました。また活動に役立つ情報や地域の活動団体情報をまとめた情報紙「Info まち活」の発行（月1回、1,000部）及びメールマガジンの配信をしました。

【相談対応：633件、コーディネート件数：47件、メルマガ登録者数：409人】

イ “まち活” de つながり事業

- ・まち活カフェ＋（年7回）【実施回数：7回、参加者数：114人】
- ・まち活パートナーズ交流会（2月）【実施日：2月12日、実施回数：1回、参加者数：11人】
- ・まち活ギャラリー 等 【申込団体数：21団体】

ウ 区民活動支援センターde 区民まつり事業

区民活動支援センターに登録している「活動団体」の活動発表の場として、区民活動支援センターde 区民まつり 2025 を開催しました。（11月）
【実施日：11月3日、参加団体：パフォーマンス10団体 展示14団体、来場者数：約400人】

エ 区民交流センターまつり事業

区民交流センター・田奈駅前広場を会場に区内で活動する団体及び地域と協働して、区民交流センターまつりを開催しました。（11月）
【実施日：11月23日、参加団体：10団体（74人）、テント出展他：19団体、来場者数：約1,850人】

オ 市民活動支援講座

市民活動を支援する講座等を開催しました。（6月、2月）
【実施回数：2回、参加者数：46人】

カ スマホ相談会

令和5年度市民活動支援講座で発足したボランティアグループ「青葉・スマホサポーター」と協働し、区内の地域活動におけるICTの利活用の推進を目的に開催しました。
【実施回数：7回、参加者数：60人】

（2）地域デビュー応援講座

地域活動の担い手育成を目的に講座を開催するとともに、受講生が地域課題解決に向けて活動ができるように支援しました。（9月～10月、フォローアップ講座含む。）
【実施回数：6回、参加者数：39人】

（3）青葉区区民企画運営講座

地域デビュー応援講座の受講生が団体を結成し、地域課題の解決及び地域活性化に向けた講座を企画・運営する事業に補助金を交付しました。
【交付済団体数：5団体】

3 便利で魅力的な選ばれるまち

(予算:21,395,000 円 決算:22,832,610 円 差引:▲1,437,610 円)

1 まちづくり・データ活用推進事業 区政推進課、総務課、税務課

(予算:8,139,000 円 決算:7,335,812 円 差引:803,188 円)

時代とともに変化する区民ニーズを捉えた地域課題の解決を推進するため、地域や関連機関との情報共有及び統計データの分析・活用を行いました。

(1) あおば街づくり連絡協議会

区内事業者・団体がより良い街づくりに向けた情報共有を行うため、「防災・災害対策」、「横浜グリーンエクスポ」をテーマにあおば街づくり連絡協議会を開催しました。

【11月25日、参加者数31人】

(2) 青葉区まちのルールづくり連絡会

建築基準法の法改正など情報提供や模型を用いた断熱窓体験を実施しました。

【3月7日、参加者数8人】

(3) データ活用の推進

区役所内業務の効率化及び職員のデジタル化の知識や意識の向上につなげるため、データ活用・デジタル化関連の研修等を実施しました。

【第1回：生成AI (Copilot) についての基本的な使い方、8月28日、参加者数74人

第2回：Teams (チームズ) についての基本的な使い方と活用事例、12月2日、参加者数65人】

(4) データで見る青葉区の発信

青葉区の人口や産業、福祉関係などの各種統計データを『なるほどあおば 2025』としてホームページに掲載しました。

併せて区民の皆様が活用しやすくするため、Excel形式でも公開し、オープンデータとして提供しました。

『なるほどあおば (HP掲載) 』



(5) 税務に関する電子申請推進<拡充>

e-Taxによる確定申告の利用促進や税証明等のオンライン申請の更なる普及を目指し、啓発動画を作成し区民に対し周知しました。

・実施時期8月～3月【動画作成：8月～2月、ホームページ掲載等各種広報：3月～】

(6) 横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向けた準備

青葉区の現状の確認や課題の整理等、横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向けて必要な項目について調査しました。

・都市計画マスタープラン青葉区プラン改定のための検討業務委託

(7) 区民意識調査

区民ニーズを把握し、施策立案の基礎資料とするため、区民意識調査を実施しました。(3年毎に実施)

【期間：令和7年6月2日～6月20日、対象者：区内在住の18歳以上5,000人、有効回答者数：2,127人(回収率42.5%)】

2 商店街活性化・中小企業振興事業 地域振興課**(予算:1,445,000 円 決算:966,922 円 差引:478,078 円)**

各商店会への情報提供や、商店街イベントの支援、広報PRを行い、商店街活性化を図りました。また、地域や企業と連携した起業支援イベント等を行い、中小企業の振興を図りました。

(1) 商店街活性化事業

区全体の商店街活性化につながるよう、商店街連合会が実施する事業を支援しました。

ア 商店街連合会が実施するイベント等への補助金の交付

【交付時期：11 月】

イ 商店街主催イベント等の広報

・広報よこはま青葉区版で夏のイベント・商店街年末年始イベントを掲載 【実施月：7 月、12 月】

・商店街お散歩マップの配布 【お散歩マップを区民利用施設等に配架】

(2) 中小企業振興事業

起業支援セミナーの開催

青葉区内の地域団体や企業と連携しながら、区内企業を育成するための起業支援イベントを開催しました。連続講座として実施し、受講者の青葉区における起業に向けた基本的な知識の習得を支援することで、中小企業の振興に寄与しました。

【実施時期：1 月～3 月、実施回数：3 回（連続講座）、参加者数：21 名】

3 青葉6大学連携事業 区政推進課**(予算:905,000 円 決算:903,272 円 差引:1,728 円)**

区内にキャンパスを有する6つの大学（國學院大学、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学）と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行いました。

(1) 代表者会議等の開催

連携を深めるため、各種会議を開催しました。

【代表者会議：テーマ 職員や学生などが取り組んでいる脱炭素化をはじめとした環境に関する取組、6 月 26 日、青葉区役所

担当者会議：5 回開催、青葉区役所・各大学等】

(2) 学生による地域の課題解決事業＜新規＞

横浜グリーンエクスポを見据え、青葉台エリアにおいて、スポーツ感覚のごみ拾いを通じて楽しみながら地域の環境美化に貢献する「スポ GOMI 大会」を開催しました。

【12 月 6 日、参加者数：22 チーム 84 人】

4 地域での読書活動推進事業 こども家庭支援課	(予算:700,000 円 決算:690,528 円 差引:9,472 円)
横浜市民の読書活動の推進に関する条例に基づき策定した青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境作りに加え、区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図りました。 読書活動推進事業 区内 14 施設において蔵書の充実を図るため図書類を更新しました。山内図書館の CD ブックの充実を図るため CD ブックを更新しました。また、読書活動推進に係る講演会及び施設や読書活動を行う団体等の交流会等を開催しました。 【図書類及び CD ブックの更新：実施時期 10 月、図書類 95 冊更新、CD ブック 22 冊更新、 読書講演会：開催時期 3 月、参加人数 151 人、 団体等交流会：開催時期 1 月、参加人数 20 人】	
5 区民サービス向上事業 総務課、戸籍課、保険年金課	(予算:2,580,000 円 決算:2,317,446 円 差引:262,554 円)
区民、来庁者に対する接遇及びおもてなしの向上に向けて、改善を図りました。具体的には職員向けの研修、戸籍課窓口の混雑対策等を実施しました。 (1) CS・ES 向上研修等(※CS：顧客満足度、ES：職員満足度) 窓口対応のレベルの維持・向上のため、外部講師による研修を実施しました。 【実施時期：12 月 19 日、内容：カスタマーハラスメント対策研修】 (2) 人権啓発講演会 人権問題に対する正しい理解と認識を深めることを目的に、市民の皆様や職員を対象とした人権啓発講演会等を実施しました。 【実施時期：2 月 28 日、講師：スマイリーキクチ氏、テーマ：インターネット社会と人権】 (3) 戸籍課窓口の混雑対策 来庁者及び入電数が増加する繁忙期に電話対応の一部を委託することで、窓口対応の体制を確保するとともに、電話がつながりにくい状況の軽減につなげ、区民サービス向上を図りました。(4 月～5 月、3 月) 【実施時期：4 月～5 月、3 月、 窓口繁忙時の転出入窓口増設(2 窓口→3 窓口)：21 日間、 電話対応：7,333 件、平均 120 件/日(うち、委託による対応数 2,092 件、平均 34 件/日) ※WEB 予約件数、効果 予約 462 件(7 件/日)、平均待ち時間 5 分、最大待ち時間 35 分(予約なし平均待ち時間 16 分、最大待ち時間 2 時間 36 分)】	

(4) 保険年金課受電の混雑対策

来庁者及び入電数が増加する繁忙期に電話対応の一部を委託することで、電話対応の体制を確保するとともに、電話がつながりにくい状況の軽減につなげ、区民サービス向上を図りました。(6月～8月)

【回線増設日の受電数：2,841件(うち増設回線の受電数1,159件)、

回線増設日：27日(うち研修2日含む)(6月・国保介護対応 約85件/日、7～8月・後期・各医療証・資格確認書等対応 約124件/日)

(増設日：6/12～30、7/16～31、8/1～5(うち土日祝を除く))】

6 利用しやすい区役所づくり事業 総務課

(予算:7,626,000円 決算:10,618,630円 差引:▲2,992,630円)

安全で快適な区庁舎や区民利用施設の環境整備を図り、区民が利用しやすい区役所づくりを推進しました。

区庁舎等の環境整備

区庁舎及び区民利用施設の設備、備品の更新、庁舎等の環境整備を行いました。

【窓口発券システム設置(こども家庭支援課)、PHS切り替え(2階、3階)、授乳室カーテン設置(1階福祉保健センター) 等】

4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち

(予算:16,289,000 円 決算:15,885,648 円 差引:403,352 円)

1 広報・広聴事業 区政推進課、戸籍課

(予算:1,985,000 円 決算:1,820,136 円 差引:164,864 円)

区政情報や区の魅力について、迅速・正確に「伝わる」情報発信を行いました。区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても、積極的に発信しました。

(1) ガイドマップ作成事業

青葉区の行政情報、地域情報及び施設情報を分かりやすく掲載したガイドマップを作成し、紙媒体及び電子媒体の両方で提供しました。

【作成：3月、配布：6,000部】



青葉区 ガイドマップ

(2) 転入者向け情報提供事業

青葉区ガイドマップや防災マップ等、市政・区政情報をまとめて提供することで、地域の活動やイベント等への参加を通じ、新たに青葉区に住む方の郷土意識の醸成を目指しました。マップ等の封入作業は障害者就労施設に委託しました。また、市政・区政情報をデータでも提供できるようホームページを案内するチラシも配布しました。

【配布部数（紙のチラシセット）：2,400部】

(3) マスコットキャラクター活用事業

青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみの貸出しやグッズの活用等を通じて、区民の皆様が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげました。

【着ぐるみ貸出し件数：10件、イラスト申請件数：16件】

(4) その他広報・広聴事業

区民の皆様のご意見等を区政に反映し、必要な情報を発信するとともに、区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても、発信していききました。

また、区役所内のシティプロモーション・広報力の向上につなげるため、広報研修を実施しました。

【内容：広報デザイン研修（区職員向け）、実施日：8月18日、参加者数：16人】

2 青葉区民まつり事業 地域振興課

(予算:5,675,000 円 決算:5,638,250 円 差引:36,750 円)

ふるさと意識の醸成と地域活動の促進を目的に、地域間での連携と情報共有が図られる区民参加型のまつりを支援しました。また、当該イベントを通じて、地域団体の企画力・実行力を向上させるとともに、地域のさらなる活性化を図るための支援を行いました。

青葉区民まつり事業

- ・開催日：11 月 3 日（月・祝）
- ・実施内容：テーマに沿った展示や地元団体等による模擬店、スポーツ体験コーナー、小中学生による演奏・演技
- ・参加団体：区内小中高等学校、自治会・町内会、商店会、ボランティア団体、民間企業等
- ・開催場所：青葉区総合庁舎周辺
- 【来場者数：約 40,000 人】



第二駐車場特設ステージ(R7.11)



第一駐車場出店テント(R7.11)

3 花と緑があふれる街事業 地域振興課

(予算:1,712,000 円 決算:1,628,068 円 差引:83,932 円)

花と緑があふれ潤いのある街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」の活動を支援するとともに、花壇づくりの技術向上やボランティアへの参加を促すことを目的とした研修会を開催しました。横浜グリーンエキスポを契機とし、「あおば花と緑のサポーター」の活動の広がりを目指しました。

(1) ボランティア育成事業

研修会を開催し、ボランティアのスキルアップやボランティアへの参加促進を図りました。

研修会開催

【実施日：3月21日】

(2) ボランティア支援事業＜拡充＞

地域の緑化ボランティア活動を支援し、花と緑があふれる住みやすい街づくりを目指しました。

ア 花苗・肥料等配付

・実施回数：年2回 【配布時期：6月・11月、配付団体数：40団体】

イ 横浜グリーンエキスポに向けた機運醸成を図る活動支援

【PR看板設置：10か所】



横浜グリーンエキスポ PR看板

4 青葉区における都市農業の展開 区政推進課

(予算:1,650,000 円 決算:1,551,786 円 差引:98,214 円)

青葉区の特色である農業を生かして将来にわたり魅力あるまちを目指すため、横浜グリーンエキスポを契機に、青葉区における都市農業への理解促進や情報発信、地産地消の推進に取り組みました。

(1) 農あるまちづくり推進事業

農業者との意見交換等を通じ、区内の都市農業の状況を把握するとともに、都市農業の魅力発信や理解促進、農に関する PR を行い、区民の皆様の関心を高め、農あるまちづくりを推進しました。

【・都市農業の魅力や理解促進に関する X による情報発信：10 回

- ・農業従事者等との意見交換会：農業に関する小学生向け学習コンテンツの利用状況の実績報告ほか、3 月 23 日実施、参加者数 10 人
- ・青葉区の農 PR パネルの制作：横浜グリーンエキスポ開催 1 年前記念イベントにて展示（3 月 19 日、青葉台東急スクエア）】

(2) あおば地産地消推進事業

区役所や商業施設でのマルシェの開催等により、区民の皆様に青葉区の農を身近に感じていただくことで、地産地消への関心を高め、地域の活性化につながりました。また、みどり環境局とも連携し、地産地消の推進につながる情報発信・PR を行いました。

【・あおばマルシェ：月 1 回実施（毎月第三木曜日）、出店数 64 店、青葉区役所 1 階区民ホール

- ・あおばグリーンマルシェ：4 回実施、青葉台東急スクエア】

(3) 農を身近に感じる事業

青葉区の魅力のひとつである寺家ふるさと村等で、寺家ふるさと村の活性化に取り組むみどり環境局とも連携し、ガイドウォーキングを開催し、区民の皆さまに横浜の都市農業や地産地消など農業に関する情報を知り、考える機会を提供しました。

【寺家ふるさと村ガイドツアー実施：3 月 12 日、参加者数 24 人】

5 メディアによる広報事業 区政推進課

(予算:5,267,000 円 決算:5,247,408 円 差引:19,592 円)

区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、区政情報や市の重要施策等を分かりやすく発信するため、動画作成を行いました。

また、青葉区を放送エリアとするコミュニティFMラジオ及びケーブルテレビ等を活用した情報提供を行いました。

各種広報媒体の特性を生かし、区民の皆様のニーズに合わせた多様な情報収集手段を提供することで、必要な情報を迅速・正確に伝えるとともに、青葉区の魅力を広く発信しました。

(1) FM による行政情報等の提供

- ・ 広報番組「あおバリューRadio」

生放送 月～金曜日 11:00～11:20、再放送 月～金曜日 18:30～18:50、ダイジェスト土・日曜日 9:00～9:30

- ・ 多言語放送「あおバリューRadio(多言語版)」月～金曜日18:50～18:55
- ・ 防災番組「防災あおば」月～金曜日11:20～11:25

(2) CATV での行政情報番組放映等

「あおバリューTV from 丘の横浜」

月～金曜日 18:45～18:55、土曜日 12:40～12:50

【放送テーマ：4～6月 みんなで目指す まちの美化、7～9月 ふらっと行って、ほっこり。青葉区の親子の居場所、

10～12月 仲間と元気に楽しむ！笑顔で健康長寿、1～3月 地震に備える！人もペットも安全・安心に暮らせるまち青葉】

(3) FM++ (アプリ) を活用した情報発信

FM サルーススマートフォンアプリ「FM++ (エフエムプラプラ)」を活用し、防災情報をタイムリーに発信するとともに、区のイベント等に関する情報を広く区民の皆様に届けました。

【発信件数：480 件（災害・気象情報等）】

5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち

(予算:20,783,000 円 決算:19,877,807 円 差引:905,193 円)

1 郊外部における脱炭素化の促進 区政推進課

(予算:3,300,000 円 決算:3,725,708 円 差引:▲425,708 円)

脱炭素社会に向けて区民の行動変容を促すため、キャンペーンやイベント、環境出前授業などを通じて、脱炭素の取組を幅広い世代に効果的に広報しました。

(1) 移動における脱炭素化促進キャンペーン

日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルのポートを設置しました。郊外部の移動に関する行動変容を目的とした「青葉区の縁(ふち)めぐりデジタルスタンプラリー」、シェアサイクル利用促進に向けた「あおばシェアサイクルチャレンジ」などのイベントを開催しました。

【開催時期:9/13~11/24、参加者数:154人】

(2) 脱炭素化促進イベント

「環境」をテーマに掲げる横浜グリーンエクスポ関連イベントや、区内で行われるイベントなどで、脱炭素化につながる身近な取組などを紹介しました。

○連携事業:

- ・環境月間イベント「青葉台東急スクエアでサステナブルアクション!!」に出展し、環境にやさしい行動(YOKOHAMA GO GREEN 10Action)の啓発を実施、6月8日、青葉台東急スクエア
- ・「あおばを食べる収穫祭」に出展し、デカボ my スコア(※)を用いたCO2排出量の計測、ペロブスカイト太陽電池の展示等により脱炭素化について啓発を実施、11月23日、藤が丘駅前公園 (※)質問に回答するとCO2排出量を計測できるツール

○主催事業:

- ・横浜グリーンエクスポ開催1年前記念イベント～あおばでGREENを楽しもう～

(1日目)地産地消マルシェ、間伐材を再利用した一輪挿しワークショップを実施、3月19日、青葉台東急スクエア

(2日目)区内県立高校(市ヶ尾高校・田奈高校・元石川高校)とコラボしたGREEN×EXPOスタンプラリー、GREEN×EXPO出展内定企業によるミニブーケ作りワークショップ、たねダンゴ®づくりを実施、3月20日、たまプラーザテラス】



「青葉台東急スクエアでサステナブルアクション!!」の様子
(R7.6)



「あおばを食べる収穫祭」の様子(R7.11)



「開催1年前記念イベント」
(青葉台東急スクエア)の様子(R8.3)



「開催1年前記念イベント」
(たまプラーザテラス)の様子(R8.3)

(3) 環境出前授業

区内市立小学校向けにペロブスカイト太陽電池を用いた環境出前授業を実施し、子どもの学びを通じて、家庭、社会全体の行動変容につなげました。

【実施校数：10校】



ペロブスカイト太陽電池の説明の様子(R8.2、R8.1)

2 青葉まちの美化推進事業 地域振興課

(予算:2,994,000 円 決算:2,743,528 円 差引:250,472 円)

脱炭素社会の実現とSDGsの達成に資するプラスチック対策や食品ロス削減等を進めるとともに、地域の自主的な美化活動への支援等により、清潔できれいなまちづくりを推進しました。

(1) 街の美化推進事業

清潔できれいな街づくりを推進するため、地域の自主的な美化活動の支援と不法投棄防止に向けた取組を行いました。また、補助金交付により、各連合自治会の美化推進活動を支援しました。

- ・清掃活動用バイオマス素材のごみ袋支援(実施時期:通年) 【配付枚数:9,890枚、配付団体数:46団体】
- ・区民参加型クリーンアップイベント「クリーンウォーク」の実施 【実施回数:2回(12月 たまプラーザ、2月 あざみ野)】
- ・「青葉まちの美化推進事業補助金」交付(8月) 【交付団体数:15団体(15連合自治会町内会)】
- ・青葉まちの美化推進功労者表彰(11月) 【被表彰者:個人 1人、団体 4団体】
- ・放置自動車及び不法投棄防止対策会議 【開催回数:4回】

(2) 3R推進事業

7年度から全区展開されたプラスチックごみの分別拡大の定着を始めとしたプラスチック対策や食品ロスの削減、3R推進の啓発等を行いました。

- ・資源循環局と連携した商業施設や駅頭等での啓発・キャンペーンの実施（通年）

【啓発・キャンペーン：商業施設等（12回）、駅頭（2回）

出前講座・説明会等：自治会町内会等（23回）、小学校等（12回）】

- ・プラスチック資源に関する親子向けの啓発講座の実施

【啓発講座（夏休み3R教室）：実施日 8月9日、実施場所 青葉区役所、参加者数 19人】

- ・食品ロス削減啓発イベントの実施

【「あおばフードドライブ大作戦」：実施日 10月18日～31日、実施場所 区民利用施設・青葉区役所・資源循環局青葉事務所、受入数 472点】

- ・フードドライブの受付（通年）【受入数：1,467点】

- ・「あおば区民文庫ボックス」を活用した資源の有効活用及び読書推進（通年）【受入数：23,713冊】

3 地域防犯支援事業 地域振興課

（予算：1,599,000円 決算：1,350,195円 差引：248,805円）

防犯グッズの貸与による、地域の自主的な防犯活動への支援にあわせ、警察との連携による特殊詐欺対策や広報等を活用した啓発により、区民の皆様の防犯に対する意識向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進しました。

(1) 区民の防犯意識向上のための啓発事業

警察との連携による特殊詐欺対策や広報等を活用した防犯に関する啓発を実施しました。

- ア 警察と連携した特殊詐欺対策機器貸与事業の運営

・実施時期：通年 【電話録音装置貸与：貸与台数 37台（累積台数 238台）】

- イ 青葉区犯罪発生情報メール送信

・実施時期：通年 【登録者数：3,025人】

- ウ 「広報よこはま青葉区版」による啓発

【実施月：12月】

- エ 「あおバリューRadio」による啓発

【実施月：12月】

- オ 安全・安心まちづくり旬間出陣式

【実施日：10月10日、実施場所：公会堂】

- カ その他

【自転車盗難防止啓発横断幕設置：7か所】



自転車盗難防止啓発横断幕

(2) 自主的防犯活動支援事業

防犯グッズの貸与により、地域の自主的な防犯活動を支援しました。

- ア 地域の自主的な防犯活動団体に対する防犯グッズの貸与
 - ・実施時期：通年 【のぼり旗・防犯ベスト等の貸与：配付団体数 60 団体】
- イ 各地域の防犯パトロールへの参加
 - ・実施時期：通年 【防犯パトロール参加回数：8 回】

4 交通安全対策事業 地域振興課

(予算:4,595,000 円 決算:5,047,781 円 差引:▲452,781 円)

区内の交通事故減少、交通マナーの向上を目指し、広報活動や交通安全教室、交通安全ポスターコンクール等を実施することで、交通安全・マナーの意識啓発を図りました。また、地域と連携し、スクール・ゾーン路面標示の設置・補修を行いました。

(1) 青少年交通安全教育推進事業＜拡充＞

児童・生徒が交通事故に遭わないような気付き、きっかけ作りにつながる啓発リーフレットを作成し、区内小学校・中学校へ配布しました。また、ランドセルカバーの制作を行ったほか、警察等関係者と共に交通安全教室を開催するなど、広く交通安全啓発を行いました。

- ア 啓発リーフレット配布
 - ・実施時期：6 月～7 月
 - ・配布対象：青葉区内の市立小学 2・4・6 年生及び中学 2 年生
 - ・作成部数：約 10,000 部
 - 【配布時期：7 月、配布部数：9,869 部】
- イ 新 1 年生向けランドセルカバーの制作
 - ・納品時期：3 月 【GREEN×EXPO 2027 仕様の制作枚数：2,453 枚】
- ウ はまっ子交通安全教室の実施
 - ・対象：区内小学校 30 校（このうち、開催を希望する小学校のみ実施）
 - 【実施数：28 校】

(2) スクール・ゾーン対策協議会

児童の登下校時の安全を守るため、通学路の危険箇所の調査点検等を行う小学校スクール・ゾーン対策協議会への活動助成及び路面表示等の設置、補修等を行いました。

- ア 助成金の交付
 - ・時期：6 月
 - 【申請団体数：28 団体（対象 30 団体）】

イ スクール・ゾーン対策協議会を通じた路面表示等の設置、補修等

・申請時期：6月～7月

【申請団体数：20団体（対象30団体）、箇所数：33箇所】

（3）青葉区交通安全対策協議会

青葉区小学生交通安全ポスターコンクールを行い、交通安全への意識啓発を図りました。また、協議会の総会を通じて区内の交通安全に関する取り組みを共有するとともに、区交通安全功労者の表彰を行いました。

ア 青葉区小学生交通安全ポスターコンクール

・作品募集：7月～9月 【作品募集期間：7月14日～9月12日、応募数：221作品】

・表彰式：12月25日 【被表彰作品数：21作品】

イ 総会・交通安全功労者表彰式の開催

【実施日：2月20日、被表彰者数：個人6人・団体4】

5 青葉区防災の街づくり事業 総務課、福祉保健課、生活衛生課

（予算：8,295,000円 決算：7,010,595円 差引：1,284,405円）

区防災計画に基づき、「災害時の防災協定」、「医療救護等の対策」、「災害に強い人づくり」、「避難者対策」、「災害時のペット対策」に取り組み、地域防災力の向上を目指しました。

（1）地域防災拠点支援事業

地域防災拠点運営機能を強化するための研修等を実施し、拠点で活用する物品の整備を行いました。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会
- ・地域防災拠点運営委員向け研修（ハマッコトイレ、炊飯資機材取り扱い）【実施回数：2回】
- ・物品整備【乳幼児用段ボールベッド】

（2）区災害対策本部運営事業

区災害対策本部運営用（拠点等へ配備）のスマートフォンの更新を行いました。また、本部運営訓練や職員向け研修等を実施し、災害時の危機管理対応能力の向上を目指すとともに、区の緊急時情報伝達システムを活用した情報伝達訓練を実施しました。

- ・スマートフォンの更新 【更新時期：1月】
- ・新採用職員、青葉区転入職員等に対する研修 【実施時期：4月14日】
- ・地域防災拠点動員者向け研修 【実施時期：8月19日、22日】
- ・緊急時情報伝達訓練（自治会・町内会等対象） 【実施回数：4回】
- ・区災害対策本部運営訓練 【区職員対象：3月】

(3) 防災啓発事業

区民への防災啓発として、区内の小中学校を対象に、災害時の避難行動計画について考えるマイ・タイムラインの作成講座を行いました。また、転入者等に配布するため、「青葉区民防災必携（横浜市浸水ハザードマップ）」を更新しました。

- ・マイ・タイムライン作成講座 【実施校数：19校（小学校15校、中学校4校）】
- ・「青葉区民防災必携」の更新 【作成部数：15,000部】

再配当事業 区民向け防災講演会（総務局）

学校法人桐蔭学園と青葉区による防災講演会を開催しました。

ドキュメンタリー映画の上映会や監督らによるパネルディスカッション等を通じて、自助・共助の大切さを考える講演会となりました。

【実施日：10月19日、場所：青葉公会堂】

(4) 災害時医療体制整備事業

区内で震度6弱以上の地震が観測された場合、12か所の「定点診療拠点」を開設し、身近な場所で軽症者が応急医療を受けられるよう物品を整備しました。また、青葉区の災害医療体制を充実するため、医師会等との連絡会や各種訓練会等を開催するほか、関係者間で開設・運営について検討するなど、定点診療拠点の体制の整備・充実を進めました。

ア 防災物品整備・更新

- ・時期：1月～3月
- ・購入物品：定点診療拠点における応急医療関係物品 【診療録、備品ロッカーの合鍵、経口補水液用粉末、文房具類 等】

イ 災害医療連絡会議

【開催日：3月23日

構成メンバー：青葉区医師会、青葉区歯科医師会、青葉区薬剤師会、神奈川県柔道整復師会横浜西支部、災害拠点病院 昭和医科大学藤が丘病院、災害時協力病院（7病院）、横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉区支部、イツコム・FMサルス、青葉警察署、青葉消防署、青葉区災害医療アドバイザー 等】

(5) 災害時のペット対策事業

災害時のペット対策を推進するため、飼い主への周知啓発を実施します。また、地域防災拠点でペット受入れのルール化に向けた働きかけや支援を実施しました。

ア 飼い主向け啓発

災害時に向けて日頃の備えに関する啓発を窓口、ホームページや広報紙を活用して実施しました。

(ア) ペットと飼い主のための防災対策 NOTE（ノート）の作成

6 大学連携を行っている青葉区の特徴を活用し、横浜美術大学と連携して作成しました。

- ・完成時期：2 月
- ・作成部数：1,000 部
- ・活用方法：窓口や区内動物病院、拠点訓練等での配布、区 HP への掲載等
- ・周知：区 HP、広報よこはま 2 月号、X での投稿

(イ) 窓口展示コーナーへの防災物品等展示

- ・実施時期：通年

(ウ) 展示スペースでのパネル展

- ・実施時期：9 月 22 日～26 日

(エ) 広報よこはま青葉区版掲載

- ・実施時期：9 月号

(オ) 狂犬病予防注射集合会場での啓発

- ・実施時期：4 月

【実施回数：4 回、チラシ配付部数：540 枚】

(カ) 健康フェスティバルでの啓発

- ・実施時期：11 月 3 日



ペットと飼い主のための防災対策 NOTE（ノート）

イ 地域防災拠点等への取組支援・啓発

ペット同行避難を推進するため、地域防災拠点運営委員会総会で災害時のペット対策に関する説明を行いました。また、各拠点運営委員会や拠点訓練等において、一時飼育場所開設支援キットを用いた飼い主の受付方法や、同行避難訓練等について支援を行いました。

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会での説明

【実施日：5 月 28 日、出席者：87 人（41 拠点）】

(イ) 各拠点運営委員会や拠点訓練等における支援

- ・実施時期：6 月～3 月
- ・実施内容：物品の貸出、資料の配布、訓練での説明等

【実施回数：17 回】

コラム 令和 7 年度横浜市総合防災訓練の実施

横浜市では、市民や防災関係機関の連携強化と地域防災力の向上を目的に、毎年度、各関係機関と連携した「横浜市総合防災訓練」を実施しています。令和 7 年度は青葉区を会場として実施しました。

【実施日時：9 月 28 日 9 時 00 分～12 時 00 分、実施場所：谷本公園（横浜市青葉区下谷本町 31 番地 10）】

物品及び委託契約における市内中小企業者への発注状況について（青葉区契約分）

1 令和7年度の市内中小企業への発注状況

(1) 物品

市内中小企業への発注率は、**件数で99.4%**（昨年度比4.7ポイント増）、**金額で82.6%**（昨年度比16.2ポイント減）となりました。

(2) 委託

市内中小企業への発注率は、**件数で98.7%**（昨年度比9.7ポイント増）、**金額で98.0%**（昨年度比7.0ポイント増）となりました。

2 令和7年度の受注機会増大に向けた取組

契約の相手方を選定する際に、やむを得ない場合を除き、原則市内中小企業を選ぶことを徹底しました。

市内中小企業者への発注状況（青葉区契約分）

	区分	契約実績（※単独随意契約及び大規模契約を除く）							
		市内中小企業契約実績						件数	金 額
		件数	割合	前年度からの増減	金 額	割合	前年度からの増減		
令和7年度	物品	720	99.4	4.7	89,899	82.6	▲16.2	724	108,867
	委託	151	98.7	9.7	187,043	98.0	7.0	153	190,783
令和6年度	物品	709	94.7	▲5.3	122,716	98.8	▲1.2	749	124,243
	委託	121	89.0	▲9.7	166,872	91.0	▲7.2	136	183,397

- ※ 財政局契約部による全区局調査と同じ基準で集計しています。
- ※ 「割合」とはそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績に占める割合です。
- ※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。
- ※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたものです。

令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

1 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 予算総括表

区 分	予算額		増減	令和 8 年度財源	
	令和 8 年度	令和 7 年度		一般財源	特定財源
(1) 自主企画事業費	104,934	105,340	▲ 406	104,880	54
(2) 統合事務事業費	51,706	52,850	▲ 1,144	47,476	4,230
統合事務費	27,527	28,056	▲ 529	27,347	180
統合事業費	24,179	24,794	▲ 615	20,129	4,050
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	908,664	882,639	26,025	882,209	26,455
区庁舎管理費	198,005	197,915	90	190,416	7,589
区民利用施設管理費	710,659	684,724	25,935	691,793	18,866
合 計	1,065,304	1,040,829	24,475	1,034,565	30,739

※ 一般財源は市民局から配分された財源

※ 特定財源は、広告料収入、公会堂・スポーツセンターの光熱水費振替分、自動販売機手数料等

＜市民生活の安心・安全＞

1 安心・安全に暮せる持続可能なまち

R8 : 16,154 千円、R7 : 14,489 千円、増減 : 1,665 千円

1 青葉区防災の街づくり事業

総務課、福祉保健課、生活衛生課

R8 : 9,842 千円、R7 : 8,295 千円、増減 : 1,547 千円

区防災計画に基づき、「避難者対策」、「区災害対応の強化」、「災害に強い人づくり」、「医療救護等の対策」、「災害時のペット対策」に重点をおき、地域防災力の向上を目指します。あわせて、「減災」及び「自助・共助」の考え方を区民に周知します。

（１）地域防災拠点支援事業（R8 : 4,219 千円、R7 : 2,040 千円、増減 : 2,179 千円）＜拡充＞

- ・拠点総会【5月26日】
- ・訓練支援、資機材修繕、拠点備蓄品配備（通年）
- ・拠点表示板の更新（9月～3月）

（２）区災害対策本部運営事業（R8 : 2,240 千円、R7 : 3,220 千円、増減 : ▲980 千円）

- ・区災害対策本部運営用スマートフォンの更新等（1月頃）
- ・情報受伝達ツールの管理運用（通年）

再配当事業

青葉区庁舎浸水対策事業（市民局）

大雨等による区庁舎への水の流入を防ぐため、止水板・止水壁の設置等の対策工事を行います。
（契約期間：令和8年3月～令和9年7月）

（３）防災啓発事業（R8 : 2,410 千円、R7 : 2,000 千円、増減 : 410 千円）＜拡充＞

- ・小中学生等を対象とした防災講座（6月～12月）【実施回数3回、申込12校（8月末現在）】

新たに地域防災拠点運営委員とともに講座を実施することで、小中学生と地域活動者の顔の見える関係をつくれます。

- ・新たな防災気象警報に対応した防災マップの配布（6月～3月）

（４）災害時医療体制整備事業（R8 : 406 千円、R7 : 411 千円、増減 : ▲5 千円）

地域定点診療拠点において活用する物品の整備や、訓練の支援、Yナースへの働きかけ、災害医療連絡会議等を実施します。

- ・災害時地域医療検討部会（毎月）
- ・MCA 無線操作研修（9月13日）
- ・合同無線訓練（11月15日）
- ・災害時医療連絡会議（3月）

(5) 災害時のペット対策事業 (R8 : 567 千円、R7 : 624 千円、増減 : ▲57 千円)

- ・市及び区の防災計画に基づいたペットの同行避難について飼い主への周知啓発を実施 (通年)
- ・ペットと飼い主のための防災対策 NOTE (ノート) 増刷 1,500 部 (6 月)
- ・地域防災拠点等への支援、啓発 (5 ~ 3 月)

【責任職防災研修、拠点運営委員会総会での説明・3 回】

【地域防災拠点、各種防災イベント等での啓発 (8 月以降実施予定)】

2 地域防犯支援事業

地域振興課

R8 : 1,721 千円、R7 : 1,599 千円、増減 : 122 千円

防犯グッズの貸与による、地域の自主的な防犯活動団体への支援にあわせ、警察との連携による高齢者を対象とした特殊詐欺対策や広報を活用した啓発等により、区民の皆様の防犯に対する意識向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進します。

(1) 自主的な防犯活動支援事業 (R8 : 1,421 千円、R7 : 637 千円、増減 : 784 千円)

- ・地域の自主的な防犯活動団体に対する防犯グッズの貸与 (通年) 【のぼり旗・防犯ベスト等の貸与 配付団体数 : 11 団体 (8 月末現在)】
- ・各地域の防犯パトロールへの参加 (通年) 【参加回数 : 2 回 (8 月末現在)】
- ・警察と連携した特殊詐欺対策機器の貸与 (通年) 【貸与台数 : 11 台 (8 月末現在)】

(2) 区民の防犯意識向上のための啓発事業 (R8 : 300 千円、R7 : 962 千円、増減 : ▲662 千円)

- ・青葉区犯罪発生情報メール送信 (通年) 【登録者数 : 3,087 人 (8 月末現在)】
- ・「広報よこはま青葉区版」による啓発 (8 月、10 月、12 月)
- ・「あおバリューRadio」による啓発 (10 月、12 月)
- ・「あおバリューTV」による啓発【放映時期 : 7 ~ 9 月 (8 月末現在)】
- ・安全・安心まちづくり旬間出陣式 (10 月)
- ・警察及び防犯協会と連携した防犯キャンペーンの実施 (10 月)

3 交通安全対策事業	地域振興課	R8 : 4,591千円、R7 : 4,595千円、増減 : ▲4千円
区内の交通事故を減少させるため、児童等を対象とした交通安全教育、スクール・ゾーン対策、各季の交通安全キャンペーンを通じて交通安全の啓発を行います。		
(1) 青少年交通安全教育推進事業 (R8 : 4,236 千円、R7 : 4,240 千円、増減 : ▲4 千円)		
・区内小中学校へのリーフレット配布【配布時期：7月、配布部数：9,731部（8月末現在）】		
・キャンペーン等啓発（随時）【夏の交通事故防止キャンペーン 会場：区民ホール 実施：7月17日 参加者数200人（8月末現在）】		
・小学校スクール・ゾーン対策協議会への活動助成金交付【申請数：21校（8月末現在）】		
・スクール・ゾーン路面標示		
(2) 青葉区交通安全対策協議会 (R8 : 355 千円、R7 : 355 千円、増減 : 0 千円)		
青葉区小学生交通安全ポスターコンクールを行い、交通安全への意識啓発を図ります。また、協議会の総会を通じて区内の交通安全に関する取り組みを共有するとともに、区交通安全功労者の表彰を行います。（ポスター作品募集：7月～9月・ポスターコンクール）		

2 誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち	R8 : 11,115 千円、R7 : 14,077 千円、増減 : ▲2,962 千円
1 地域包括ケアシステムの推進 高齢・障害支援課	R8 : 1,749 千円、R7 : 2,365 千円、増減 : ▲616 千円
2025 年には、団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、2040 年には団塊ジュニア世代が 65 歳以上の高齢者となるほか、団塊の世代を中心に 85 歳以上の人口が急速に増加すると予測されています。 こうした状況を踏まえ、青葉区では 2040 年を見据えて、シニアの社会参加を推進するとともに、認知症への理解を始め様々な高齢者支援を通じて、地域で支え合いながら、高齢者が医療や介護が必要になっても安心して生活でき、自らの意思で自分らしく生きることができるよう、区の特성에応じた横浜型地域包括ケアシステムを推進します。	
(1) シニアの社会参加推進事業 (R8 : 1,236 千円、R7 : 1,532 千円、増減 : ▲296 千円) <拡充> ・ e スポーツの PR、活動団体の交流・モチベーションの維持向上を目的に、新たに対抗戦と講演会を同時開催 ・ 敬老祝品贈呈 (9 月) ・ シニアいきいき芸能大会 (11 月 21 日)	
(2) 高齢者支援事業 (R8 : 513 千円、R7 : 833 千円、増減 : ▲320 千円) ・ 認知症サポーター養成講座開催支援、青葉区キャラバン・メイト連絡会活動支援 ・ 認知症普及啓発チラシ作成 (9 月) ・ 認知症の人を地域全体で見守り・理解促進する「あおば認知症フレンドリー協力機関」登録事業の推進【登録店舗等 93 か所 (8 月末現在)】 ・ 医療と介護の連携促進を目的とした、多職種による「顔の見える場づくり会議」の実施 (4 回)	



e スポーツ体験の様子 (R7.11)

あおば認知症フレンドリー
協力機関登録ステッカー



2 障害者ふれあい事業

高齢・障害支援課

R8 : 1,726 千円、R7 : 2,212 千円、増減 : ▲486 千円

障害者の社会参加活動を活性化させ、地域とつながる共生社会の推進を目指します。障害福祉に関する地域への啓発をおこない、特に重症心身障害児者に関する障害理解や、増加する精神疾患に関する病気への理解を促進します。

(1) 障害児者支援事業 (R8 : 1,346 千円、R7 : 1,980 千円、増減 : ▲634 千円)

青葉区の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等を1冊にした当事者向け冊子「あおばでくらす」を増刷し、障害児者が青葉区での生活・就労等をしやすくなるようにします。制度変更に合わせて、障害者手帳交付者向け動画コンテンツを適宜改訂します。

また、障害者とボランティアの農業を通じた交流を目的としたふれあい農園事業を継続して実施します。

(2) 障害児者福祉普及啓発事業 (R8 : 380 千円、R7 : 232 千円、増減 : 148 千円) <拡充>

- ・精神保健福祉 区民向け普及啓発講座：テーマ「思春期・成人期の発達障害を理解する」(8・9・10・11月開催予定)
- ・重症心身障害児者 支援者向け講演会：年1回
- ・ユニバーサル野球イベント：年1回

ユニバーサル野球イベントの様子 (R7.11)



コラム ユニバーサル野球とは

障害のある人もない人も一緒に楽しめるよう開発された、大型の野球盤を用いたスポーツです。バッターボックスに立つと、まるで野球場にいるような臨場感が味わえ、身体に麻痺のある方や、筋力の弱い方でも野球を楽しむことができます。例年、桐蔭横浜大学の軟式野球部に運営ボランティアとして協力していただいています。

3 青葉区健康づくり支援事業	福祉保健課	R8：3,729千円、R7：4,643千円、増減：▲914千円
区民の食生活・歯科口腔・運動などの健康づくり活動を支援して生活習慣病を予防します。講話（教室）や相談、啓発、イベントを通して区民の健康に関する意識を高めるとともに、日常生活での健康づくり行動の実践を支援します。		
（1）食育支援事業（R8：2,151千円、R7：1,899千円、増減：252千円）※乳幼児健康づくり事業から統合による増		
健康づくりに役立つ食を中心とした啓発を食生活等改善推進員会（ヘルスメイト）に委託して実施します。また、乳幼児、保護者の食育について講話及び相談を実施します。		
・食生活等改善推進員による食育啓発：年6回【2回実施（8月末現在）】、動画作成1本 ・乳幼児・保護者の食育（離乳食講座、幼児食講座）：年108回【42回実施（8月末現在）】		
（2）ウォーキング普及啓発事業（R8：479千円、R7：624千円、増減：▲145千円）		
保健活動推進員等と連携し、ウォーキングの普及啓発を行います。		
・保健活動推進員ウォーキング部会、研修会、ウォーキングイベントの随時開催 - 保健活動推進員ウォーキング部会：年5回【1回実施（8月末現在）】 - 研修会（10月14日） - ウォーキングイベント（3月） ・ウォーキングマップの配布		
（3）乳幼児歯科保健指導事業（R8：799千円、R7：720千円、増減：79千円）※乳幼児健康づくり事業から統合による増		
歯牙の萌出開始時期の幼児（0歳～1歳5か月児）を対象に歯科保健に関する講話と個別指導を実施します。		
・福祉保健センター：年12回【5回実施（8月末現在）】 ・地域ケアプラザ：年3回 ・子育て支援拠点：年6回【1回実施（8月末現在）】		
（4）健康フェスティバル事業（R8：300千円、R7：1,400千円、増減：▲1,100千円）※青葉区民まつり事業へ一部移管による減		
保健・衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催します（11月3日）。		

4 地域福祉保健推進事業	福祉保健課	R 8 : 2,623 千円、R 7 : 3,633 千円、増減 : ▲1,010 千円
第 5 期地域福祉保健計画を推進するため、地域福祉保健計画策定・推進検討会や地区別計画推進会議を開催し、取組や課題を共有して地域課題の解決に取り組めます。また、各地区の取組を下支えするため、補助金の設置や地区サポートチームによる支援体制の強化に取り組めます。		
(1) 地域福祉保健計画の推進 (R 8 : 1,239 千円、R 7 : 3,039 千円、増減 : ▲1,800 千円)		
・地域福祉保健計画策定・推進検討会 : 上半期 1 回、下半期 1 回 ・社会福祉大会 : 年 1 回 (12 月 9 日) ・地区サポートチーム研修 : 年 1 回以上実施 (6 月 2 日) 、地区サポートチーム会議 : 各地区年 3 回以上実施 ・地域福祉保健計画地区別計画推進活動補助金 : 15 地区【 6 地区申請 (8 月末現在) 】		
(2) 青葉ふれあい見守り事業 (R 8 : 1,384 千円、R 7 : 594 千円、増減 : 790 千円)		
民生委員児童委員が、概ね 70 歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を月に 1 回程度、訪問や見守り活動を実施し、必要に応じて区や地域包括支援センターに連絡し、在宅の福祉サービスなどにつなげていきます。		
・地域見守りサポート補助金 : 29 区域【 10 区域申請/欠員 25 区域 (8 月末現在) 】 ・民生委員児童委員担当区域図作成 : 100 区域 (2 月)		
5 快適で衛生的な暮らし支援事業	生活衛生課	R 8 : 942 千円、R 7 : 878 千円、増減 : 64 千円
日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組むとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援します。		
(1) 食品衛生普及啓発事業 (R 8 : 168 千円、R 7 : 80 千円、増減 : 88 千円) < 拡充 >		
・食品衛生講習会 : 食品衛生責任者向け 7 月～12 月 計 5 回 食事ボランティア向け 2 月 計 1 回 ・食中毒予防パネル展示 : 7 月 24 日～31 日 (区役所) 、9 月 1 日～14 日 (山内図書館) 、11 月 3 日 (健康フェスティバル) ・保育施設向け手洗い啓発 (新たに手洗い啓発ポスターを作成) : 9 月から配布予定 【対象 : 約 100 施設 (認可保育園、横浜保育室) 】 ・広報よこはま青葉区版掲載 : 8 月 ・青葉区役所公式 SNS による食中毒予防啓発 : 通年 (8 月以降実施予定) ・社会福祉施設・ボランティア等衛生支援 : 通年		

(2) 動物の適正飼育推進事業 (R8 : 260 千円、R7 : 320 千円、増減 : ▲60 千円)

- ・犬の注射会場での啓発【4回実施】
- ・犬の登録時の啓発、犬糞プレート交付、犬・猫苦情対応(通年)
- ・ホームページ、青葉区役所公式 SNS、広報車での啓発(随時)
- 【SNS・広報車での啓発実施回数・2回(8月末現在)】
- ・広報よこはま青葉区版(3月)
- ・ハチ、ネズミ等の防除に関する相談、物品の貸出(通年)
- 【捕鼠かご貸出・0件、ハチ防護服貸出・10件(8月末現在)】
- ・広報よこはま青葉区版掲載: 8月
- ・青葉区役所公式 X(旧 Twitter) 投稿: 3回/年
- ・社会福祉施設・ボランティア等衛生支援: 通年

(3) 各事業共通事務費 (R8 : 514 千円、R7 : 478 千円、増減 : 36 千円)

6 障害児支援事業	こども家庭支援課	R8 : 346千円、R7 : 346千円、増減 : 0千円
------------------	-----------------	---------------------------------------

発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童とその保護者にとって適切な支援となるよう、支援者のスキル向上を図ります。また、養育者がこどもの成長や特性を記入するための「サポートファイルかけはし」や、障害児通所事業所等の地域資源をまとめた「きらきらマップ」等を活用し、保護者と支援者、支援者同士、さらに地域も含め連携を深めます。

(1) 研修会開催 (R8 : 116 千円、R7 : 116 千円、増減 : 0 千円)

- ・支援者向け研修会開催: 年1回(2月)

(2) 地域資源マップ (R8 : 230 千円、R7 : 230 千円、増減 : 0 千円)

- ・地域資源マップ(きらきらマップ): 1,500部(2月発行予定)

＜青葉区の持続的な成長・発展＞

3 魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち

R8 : 63,077 千円、R7 : 61,005 千円、増減 : 2,072 千円

1 青葉魅力向上事業

区政推進課

R8 : 6,090 千円、R7 : 4,566 千円、増減 : 1,524 千円

青葉区の魅力をさらに発展させるとともに、持続可能なまちづくりを進めます。また、都市農業や豊かな緑地を生かした取組や、市内最多となる6つの大学と連携した取組などを通じて青葉区の魅力を高め、発信するとともに、都市計画マスタープランにおける区プランの策定年度であることから、計画の策定を進めます。

（1）横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定（R8 : 2,000 千円、R7 : 2,000 千円、増減 : 0 千円）

横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向け、青葉区プランの素案の作成、地域へのヒアリング等の作業を行います。

【8月末現在】

都市計画マスタープラン区別計画素案（案）（前半区）作成業務委託の発注（5月）、区民向けアンケート制作業務の発注（7月）

（2）農あるまちづくり推進事業（R8 : 1,650 千円、R7 : 1,650 千円、増減 : 0 千円）

【8月末現在】

- ・区の SNS などを通じた都市農業の魅力発信や理解促進（通年）
- ・農体験の機会創出に向けた検討
- ・あおばマルシェ：毎月第3木曜日開催（年12回開催）
- ・あおばグリーンマルシェ：3回開催予定（第1回 6月16日、青葉台東急スクエア）
- ・農を身近に感じるまちあるきの開催
- ・農業従事者等との意見交換会の実施（7月16日）

（3）青葉6大学連携事業（R8 : 905 千円、R7 : 905 千円、増減 : 0 千円）

区内にキャンパスを有する6つの大学と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行います。合わせて各大学の地域に向けた取組について、広報よこはま等で積極的に広報します。

【8月末現在】

- ・代表者会議（年1回）：6月25日、青葉区役所
- ・担当者会議（年5回程度）、各大学

（4）まちづくり関係会議等（R8 : 35 千円、R7 : 11 千円、増減 : 24 千円）

- ・あおば街づくり連絡協議会の開催（11月～12月）
- ・青葉区まちのルールづくり連絡会の開催（2月）

(5) 市が尾駅周辺サイン整備事業 (R8 : 1,500 千円、R7 : 0 千円、増減 : 1,500 千円) <新規>

市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、市が尾駅周辺地区全体における「案内サインの改善」に向け、サインの増設を行います。

2 脱炭素化促進事業

区政推進課

R8 : 3,500 千円、R7 : 3,300 千円、増減 : 200 千円

住宅地での脱炭素化に向けて、環境性能の高い住宅の普及や「横浜市シェアサイクル事業」(道路局事業)の推進等、脱炭素の取組について幅広い世代に効果的に広報し、区民の行動変容に繋がります。また、区内市立小学校への環境出前授業を実施します。

(1) 移動における脱炭素化促進キャンペーン (R8 : 500 千円、R7 : 1,300 千円、増減 : ▲800 千円)

郊外部の移動における脱炭素化に向け、日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルの利用促進イベント等を実施します。

【8月末現在】

・すすき野・虹ヶ丘地区のイベントにおける実施 10月31日(実施予定)

(2) 脱炭素化に向けた普及啓発 (R8 : 1,500 千円、R7 : 500 千円、増減 : 1,000 千円) <拡充>

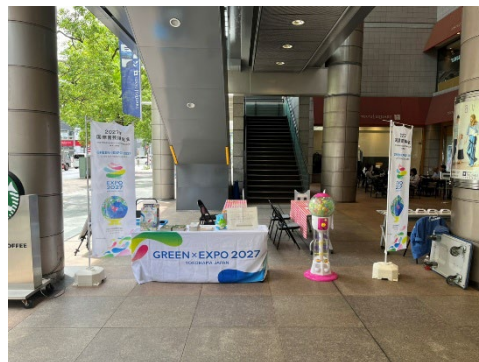
環境性能の高い住宅の普及に向けた広報や、イベント等を通じた区民の行動変容に繋がるPRを行い、脱炭素化の啓発を実施します。

8年度は、区民まつり、あおばを食べる収穫祭、商業施設等でのPRに加え、住宅の環境性能の向上に向けた広報などに取り組みます。

【8月末現在】

○連携イベント

- ・環境月間イベント「プラごみ削減キャンペーン」に出展し、アンケート回答者へのグッズ配付、環境にやさしい行動(YOKOHAMA GO GREEN 10Action)の啓発を実施、6月6日(土)、青葉台東急スクエア



「プラごみ削減キャンペーン」の様子

(3) 環境出前授業 (R8 : 1,500 千円、R7 : 1,500 千円、増減 : 0 千円)

区内市立小学校向けにペロブスカイト太陽電池を用いた環境出前授業を実施します。

【実施済 : 3 校、今後実施予定 : 10 校 (8 月末現在)】



講義の様子 (R8. 6)



太陽電池の発電で模型を動かす実演の様子 (R8. 7)

コラム 横浜グリーンエキスポの機運醸成

開催まで1年を切る8年度は、開催の認知度向上に加え、多くの方にご来場いただけるよう働きかけていきます。区内の商店街と連携したPRの取組や開催半年前・100日前など節目のイベント、花・緑・農など区の魅力を生かした横浜グリーンエキスポの情報発信など、区役所一丸となって機運醸成を図ります。

3 広報・広聴事業	区政推進課、戸籍課	R 8 : 4,448千円、R 7 : 1,985千円、増減 : 2,463千円
青葉区に「住みつづけたい、住みたい」と感じていただけるよう、各種媒体で区内外に青葉区の魅力や区政情報を発信します。青葉区ガイドマップの作成などを通じ、転入者等へ区民生活に必要な区政情報を提供するとともに、区民の青葉区への愛着を醸成するためマスコットキャラクター「なしかちゃん」を活用し、広報します。区民の皆様が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげます。		
(1) 魅力発信プロモーション (R 8 : 1,500 千円、R 7 : 0 千円、増減 : 1,500 千円) <新規>		
子育て世代を中心とした居住促進を進めるため、新たに市外に向けて青葉区の魅力を発信します。		
(2) ガイドマップ作成事業 (R 8 : 1,090 千円、R 7 : 980 千円、増減 : 110 千円)		
青葉区の地図とともに、区政情報・地域情報をまとめたガイドマップを作成します。転入者向けに配布するほか、広報相談係窓口等で配架します。		
・作成時期 : 3 月		
・作成部数 : 6,000 部		
(3) 転入者向け情報提供事業 (R 8 : 974 千円、R 7 : 72 千円、増減 : 902 千円) <拡充>		
転入手続時に市政・区政や地域の情報等を窓口来庁者へ提供します。【配布部数 : 1,006 部 (8 月末現在)】		
転入者向け情報 WEB ページの閲覧数及び事前 WEB 予約システムの利用率向上に向けた広告を新たに掲載します。(2 月～3 月)		
【WEB 予約件数 : 452 件 (4 件/日)、		
平均待ち時間 : 3 分 (予約なし平均待ち時間 : 10 分)、最大待ち時間 30 分 (予約なし最大待ち時間 : 2 時間 15 分) (8 月末現在)】		
(4) マスコットキャラクター活用事業 (R 8 : 230 千円、R 7 : 380 千円、増減 : ▲150 千円)		
青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみやイラストの運用管理及びグッズの製作等によって、区の魅力発信を行います。		
【着ぐるみ貸出し件数 : 5 件、イラスト申請件数 : 12 件 (8 月末現在)】		
(5) その他広報・広聴事業 (R 8 : 654 千円、R 7 : 553 千円、増減 : 101 千円)		
・職員向け広報研修 (年 1 回)		
実施日 : 8 月 18 日 都筑区役所 都筑区・緑区三区合同開催 参加者 : 8 名 (青葉区)		
・広報等に活用する区内写真撮影		

4 メディアによる広報事業	区政推進課	R8 : 5,267 千円、R7 : 5,267 千円、増減 : 0 千円
地域メディアであるコミュニティFM及びCATVで広報番組を制作・放送し、区政情報及び地域情報等の提供を行います。また、アプリのプッシュ通知を活用し、区政情報及び防災情報等を提供します。 (1) FMによる行政情報等の提供 (R8 : 2,403 千円、R7 : 2,403 千円、増減 : 0 千円) 青葉区役所からのお知らせ・イベント情報や青葉区の地域情報等を発信します。また、防災情報、多言語（やさしい日本語と英語、中国語、ハングル、スペイン語）による放送も行います。 (2) CATVでの行政情報番組放映等 (R8 : 2,652 千円、R7 : 2,652 千円、増減 : 0 千円) 区の魅力を発信する番組を年間4本制作し、CATVやYouTubeで放送・公開します。また、各種媒体で番組の広報を行います。 【8月末現在】 あおバリューTV 放送テーマ：4月～6月 GREEN×EXPO 2027 まであと1年！青葉区から盛り上げよう 7月～9月 守るルール、守られる暮らし～安心・安全な青葉区～ (3) FM++（アプリ）を活用した情報発信 (R8 : 212 千円、R7 : 212 千円、増減 : 0 千円) 区政情報、防災情報、各種イベント情報を、アプリを通じて発信します。 【発信件数 262 件（災害・気象情報等）（8月末現在）】		
5 データ活用推進事業	総務課、区政推進課	R8 : 3,318 千円、R7 : 5,818 千円、増減 : ▲2,500 千円
区の実情を把握するために、社会資源や区民意識、ニーズ等を把握するための調査等を実施し、調査結果を公表します。 （※「区民意識調査」は3年ごとに実施（次回は令和10年度）。(R8 : 0 千円、R7 : 5,500 千円、増減 : ▲5,500 千円)） (1) データで見る青葉区の発信 (R8 : 318 千円、R7 : 318 千円、増減 : 0 千円) 青葉区に関する各種統計情報やその推移について、区民・企業等がいつでも参照できるよう、区のホームページに掲載します。 (2) 地域資源調査 (R8 : 3,000 千円、R7 : 0 千円、増減 : 3,000 千円) <新規> 「子どもが放課後の時間を過ごす場所がほしい」などの声を受け、具体的な区民のニーズを把握するため、夏休み期間を中心に利用に関するニーズを把握します。 【8月末現在】 時期調査期間：7月18日～9月30日（民間施設（スプラス青葉台）での調査は7月27日～8月16日） 実施場所：区内各地区センター、コミュニティハウス、あおばコミュニティ・テラス、スプラス青葉台		

6 青葉区民まつり事業	地域振興課	R8 : 7,340千円、R7 : 5,675千円、増減 : 1,665千円
地域の活動団体や地域に根差した企業が区民と交流する場となる、区民まつりを開催します。あわせて健康フェスティバルも開催します（主催：青葉区民まつり運営委員会）。		
青葉区民まつり事業（R8 : 7,340 千円、R7 : 5,675 千円、増減 : 1,665 千円）※青葉区健康づくり支援事業からの事業費一部移管による増		
・開 催 日 : 11 月 3 日（火・祝） ・実施内容 : テーマに沿った展示や、地元団体による模擬店、小中高校生による演奏・演技、キャラクターショー等 【運営委員会開催 : 2 回（8 月末現在）】		
		
青葉区民まつり 2025 の様子		
7 芸術文化振興事業	地域振興課	R8 : 4,930 千円、R7 : 5,220 千円、増減 : ▲290 千円
区内で芸術文化活動を行う団体に補助金を交付し、協働して区民が創作・発表・観賞等ができる事業を展開します。 （※「AOBAデジタルアートミュージアム」は市ウェブサイトへ移管。（R8 : 0千円、R7 : 100千円、増減 : ▲100千円））		
（1）青葉区民芸術祭事業（R8 : 2,680千円、R7 : 2,680千円、増減 : 0千円）		
主催・青葉区民芸術祭運営委員会		
・青葉コーラスのつどい（10月18日） ・青葉区民作品展（11月26日～12月7日） ・青葉区民音楽祭（9月12日～9月13日、11月1日、11月8日） ・青葉区民芸能祭（12月12日・13日）		

(2) 区民ホールコンサート事業 (R8 : 700千円、R7 : 700千円、増減 : 0千円)

お昼のミニコンサート (青葉区在住のプロの音楽家による演奏) や、ジュニアフェスティバル (オーディションあり) を開催し、区民の皆様に質の高い音楽に親しんでいただく機会を提供します。

- ・お昼休みのミニコンサート : 毎月第3水曜日 (5月・8月を除く。)

【開催回数 : 3回、来場者数 : 458人 (8月末現在)】

- ・ジュニアフェスティバル

【実施日 : 8月5日、6日、出演者数 : 8組9人、来場者数 : 280人】

- ・ジュニアフェスティバルオーディション

【実施日 : 5月9日、参加人数 : 22人】



区民ホールコンサートの様子 (R7. 12)

(3) シニアコンサート事業 (R8 : 400千円、R7 : 400千円、増減 : 0千円)

高齢者が自らの演奏発表の場を得ること、またその姿を身近で応援することで地域の活性化と区民の健康長寿に寄与します。

- ・「65歳からのアートライフ」演奏会 (7月19日、2月14日)

【実施日 : 7月19日、来場者数 223人 (8月末現在)】

(4) あおば美術公募展事業 (R8 : 1,050千円、R7 : 1,200千円、増減 : ▲150千円)

区民の美術に親しむ心と創造意欲を育み、交流の機会を提供することで、一層の文化・芸術振興を図りました (7月4日~12日) (出品申込期限 : 5月22日)。

【展示期間 : 9日間 (7月4日~12日)、出品者数 : 135人 (187点)、入選作品数 : 153点 (うち、16点表彰)、来場者数 : 2,185人】

(5) 郷土の歴史を未来に生かす事業 (R8 : 100千円、R7 : 140千円、増減 : ▲40千円)

地域の歴史文化に触れる機会を提供し、未来に引き継ぐため、歴史に関する講座や講演会などを実施します。

- ・歴史探訪講座 (8回 (連続講座) 実施予定 (6月~2月、月1回開催 (8月を除く)))

【開催回数 : 2回、受講者数 : 111人 (8月末現在)】

- ・歴史講演会 (11月27日)

8 地域スポーツ振興事業		地域振興課	R8：4,400千円、R7：4,100千円、増減：300千円
地域におけるスポーツ振興を図るため、区民参加型スポーツイベントの開催支援を行うとともに、区民がスポーツを身近に感じられるよう、スポーツに親しむ機会を提供します、また、区民が主体となって運営するスポーツ振興団体を支援します。			
(1) 区民マラソン大会 (R8：3,700千円、R7：3,200千円、増減：500千円) 主催・青葉区民マラソン運営委員会 11月29日実施 【運営委員会実施回数：2回（8月末現在）】			
(2) トップスポーツチーム連携事業 (R8：200千円、R7：400千円、増減：▲200千円) 市内トップスポーツチームと連携した試合への区民招待等 【横浜F・マリノス、横浜ビー・コルセアーズ、横浜キャノンイーグルスとの実施に向け調整中】			
(3) スポーツ協会補助金 (R8：500千円、R7：500千円、増減：0千円)			
第12回青葉区民マラソンの様子 (R7.11)			
9 区民活動支援センター事業		地域振興課	R8：3,423千円、R7：3,511千円、増減：▲88千円
区民活動支援センターを運営するとともに地域活動の担い手となる人材育成講座を実施し、市民活動・生涯学習の総合的支援を行います。			
(1) 区民活動支援センター事業 (R8：2,533千円、R7：2,621千円、増減：▲88千円) - 相談・コーディネート、情報紙発行、活動団体・まち活パートナーズ登録（通年） 【相談対応：229件、コーディネート件数：30件、メルマガ登録者数：398人（8月末現在）】 - つながりづくりの推進 まち活カフェ+（8回実施予定）【実施回数：2回、参加者数：28人（8月末現在）】 - 市民活動の支援および知識の習得 市民活動支援講座（2回実施予定）【実施回数：1回、参加者数：25人（8月末現在）】 スマホ相談会（4回実施予定）【実施回数：1回、参加者数：8人（8月末現在）】 - 活動発表の場の創出 区民活動支援センターde区民まつり（11月3日）			

(2) 地域デビュー応援事業 (R8 : 890 千円、R7 : 890 千円、増減 : 0 千円)

- ・地域デビュー応援講座「あおば はじめの一步講座」(連続講座・5回実施 (9月~10月))、フォローアップ講座 (11月26日)
- ・区民企画運営講座 (5団体) 【実施団体数 : 1団体 (8月末現在)】

10 青葉まちの美化推進事業

地域振興課

R8 : 2,849 千円、R7 : 2,994 千円、増減 : ▲145 千円

「ヨコハマ プラ 5.3 計画」の推進や 2050 年脱炭素化社会の実現に向け、3Rの推進 (特に、プラスチック対策と食品ロスの削減) を進めるとともに、地域の自主的な美化活動への支援と不法投棄防止対策に向けた取組により、清潔できれいな街づくりを推進します。

(1) 3R推進事業 (R8 : 865 千円、R7 : 969 千円、増減 : ▲104 千円)

- ・土壌混合法講座 (3回実施予定 (6月、10月、3月))
【実施回数 : 1回 (6月22日)、参加者数 : 17人、
実施場所 : 区役所会議室 (8月末現在)】
- ・夏休み3R教室 (8月) 【参加者数 : 20人 (8月末現在)】
- ・あおばフードドライブ大作戦 (10月)
- ・プラスチックごみの分別・リサイクルの啓発 (通年)
【啓発・キャンペーン : 商業施設等 (1回)、駅頭 (2回)
出前講座・説明会等 : 自治会町内会等 (6回)、小学校等 (6回)
(8月末現在)】
- ・フードドライブの受付 (通年) 【183点、(8月末実績)】
- ・リユース文庫のシール貼付作業・運搬回収 (通年) 【8,777冊 (8月末現在)】



事業ロゴ



プラごみ削減キャンペーン(R8.6)

(2) 街の美化推進事業 (R8 : 1,984 千円、R7 : 2,025 千円、増減 : ▲41 千円)

- ・「青葉まちの美化推進事業補助金」交付 (8月)
- ・区民参加型クリーンアップイベント「クリーンウォーク」の実施 (青葉台 : 10月、たまプラーザ : 12月、あざみ野 : 2月)
- ・青葉まちの美化推進功労者表彰 (11月)
- ・地域清掃用バイオマス素材のごみ袋配付など地域清掃支援 (通年) 【配付枚数 : 5,220枚、配付団体数 : 20団体 (8月末現在)】
- ・不法投棄防止監視システムの運用 (区内8箇所13基設置) (通年)
- ・放置自動車一時移動対策委員会・不法投棄防止対策会議 (区・土木・資源循環局青葉事務所・警察・消防/年4回予定)
【開催回数 : 1回 (8月末現在)】
- ・空閑地調査及び所有者・管理者への文書による連絡 (通年)

11 自治会町内会支援事業	地域振興課	R8 : 2,241 千円、R7 : 2,141 千円、増減 : 100 千円
自治会・町内会への情報提供の充実、自治会・町内会間の協力・連携の場の提供により、自治会・町内会を中心とする地域団体との連携を強化します。また、地域運営に尽力してくださる方々へ感謝を伝えるため、自治会・町内会長感謝会を実施します。 自治会・町内会連携促進事業 (R8 : 2,241 千円、R7 : 2,141 千円、増減 : 100 千円) ・区連会の開催による自治会・町内会への情報提供：毎月（8月、12月を除く）【実施回数：4回（8月末現在）】 ・自治会・町内会長感謝会の実施（2月）		
12 あおば地域サポート事業	地域振興課	R8 : 1,760千円、R7 : 2,055千円、増減 : ▲295千円
地域における人材の発掘・育成及び地域協働の支援を目的とした「地域課題解決応援事業」、地域活動のスタートを支援する「あおばスタート補助金」、中間支援施設の連携強化を図る「区民利用施設交流会」を実施します。 (1) 地域課題解決応援事業 (R8 : 700 千円、R7 : 690 千円、増減 : 10 千円) ・地域の課題解決応援講座「あおばちえのわ」 地域活動団体を対象に、共通する地域課題や団体運営上の悩み等について学ぶ講座を開くとともに、参加者同士がつながりをつくり、連携を深めるための交流の場を設けます。 (4回実施予定：7月、9月、12月、2月) 【実施日：7月11日、参加人数：30人（8月末現在）】 ・自治会・町内会よろず座談会「LINEで回覧板」 回覧の電子化について、講義や事例紹介を含む座談会を実施しました。 【実施日：8月29日、参加人数：36人（28自治会・町内会）】 (2) あおばスタート補助金 (R8 : 1,000 千円、R7 : 1,205 千円、増減 : ▲205 千円) 地域の課題やニーズに合わせて、地域活動の担い手である区民の皆様が地域課題の解決に向け主体的に実施する新たな事業や、ニーズやライフスタイルの変化を捉えた新しい活動スタイルへの転換など既存の取組の改善・見直しを行う事業を支援します。 (募集期間：4月1日～7月31日) 【交付決定件数：3件】		



「あおばちえのわ」の講座の様子 (R8.7)

令和8年度 執行状況

(3) 区民利用施設交流会 (R8 : 60 千円、R7 : 60 千円、増減 : 0 千円) 区民利用施設の職員を対象に、顔の見える関係を築き、連携を深めることを目的として、グループワークも取り入れた交流会を実施します。 (開催予定日 : 9 月 8 日)		
13	花と緑があふれる街事業	地域振興課 R8 : 1,742 千円、R7 : 1,712 千円、増減 : 30 千円
花苗等の配付や研修会等の開催により、地域の緑化ボランティア（あおば花と緑のサポーター）の活動支援を行います。 ボランティア支援事業 (R8 : 1,742 千円、R7 : 1,712 千円、増減 : 30 千円) ・花苗等の配付 : 6 月、11 月【配付団体数 : 21 団体（8 月末現在）】 ・活動グッズの配付 : 11 月 ・研修会等の開催 : 3 月 コラム 横浜グリーンエキスポ半年前イベント（9 月） サポーター活動の PR として、こどもの国で「たねダンゴづくり教室」を開催します。区民の皆様が花と緑に親しむ機会を創出することで、活動への参加意欲を高めます。		
14	商店街活性化・中小企業振興事業	地域振興課 R8 : 1,650 千円、R7 : 1,445 千円、増減 : 205 千円
各商店会が地域と連携して実施する集客イベント等を支援するとともに、区内商店街の利用及び店舗の加入促進のためにPRを行います。また、地域団体や企業と連携しながら、区内企業を育成するため起業支援イベントを行います。 (1) 商店街活性化事業 (R8 : 600 千円、R7 : 395 千円、増減 : 205 千円) < 拡充 > ・青葉区商店街活性化連携事業補助金の交付 ・商店街からの相談対応 ・商店街新規加入の案内パンフレットを区商連ともに企画・作成 (2) 中小企業振興事業 (R8 : 1,050 千円、R7 : 1,050 千円、増減 : 0 千円) ・区内中小企業・起業家が参加する展示会・交流会の開催		

15 地域での読書活動推進事業	こども家庭支援課	R8 : 640千円、R7 : 700千円、増減 : ▲60千円
横浜市民の読書活動の推進に関する条例に基づき策定した青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境づくりを進め、併せて区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図ります。		
読書活動推進事業（R8 : 640 千円、R7 : 700 千円、増減 : ▲60 千円） ・図書類の更新（区内 14 施設）、CDブックの更新（山内図書館）（1 回実施予定（10 月～12 月）） ・読書バリアフリー推進のため、区内施設において「りんごの棚」の図書類を拡充（1 回実施予定（10 月～12 月）） ・講演会及び読書活動を行う団体等の交流会等の開催（1 回実施予定（12 月～3 月））		
		
誰もが利用しやすい本を集めたコーナー（R7. 12）		
16 区民サービス向上事業	総務課、区政推進課、戸籍課、保険年金課、税務課	R8 : 9,479 千円、R7 : 10,516 千円、増減 : ▲1,037 千円
区民、来庁者に対する対応及びおもてなしの向上に向けて、職員向けの人材育成・人権啓発研修、区庁舎等の環境整備等を行います。		
（1）人材育成・人権啓発推進事業（R8 : 836 千円、R7 : 1,510 千円、増減 : ▲674 千円）		
・人権啓発研修責任職全体研修（6 月 29 日、30 日） ・市民向け人権啓発講演会（11 月～2 月） ・カスタマーハラスメント対策研修（8 月 28 日） ・データ活用・デジタル化関連の研修（2 回予定（8 月～2 月））		
（2）誰もが利用しやすい区庁舎等の環境整備（R8 : 5,983 千円、R7 : 7,626 千円、増減 : ▲1,643 千円）		
区庁舎及び区民利用施設の設備、備品の更新、庁舎等の環境整備を行います（通年）。		
（3）戸籍課窓口の混雑対策（R8 : 860 千円、R7 : 870 千円、増減 : ▲10 千円）		
来庁者及び入電数が増加する繁忙期に、電話対応の一部を委託します（4～5 月、3 月）。		
【電話対応 : 3,774 件、平均 97 件/日（うち、委託による対応数 549 件、平均 23 件/日）（4～5 月実績）】		
（4）保険年金課受電の混雑対策（R8 : 1,400 千円、R7 : 300 千円、増減 : 1,100 千円）＜拡充＞		
電話でのお問合せが増加する繁忙期に自動応答システムを導入し、電話がつながりにくい状況の改善につなげます（6 月～8 月）。		
【応答件数 4,867 件 平均 143 件（職員応答 2987 件、自動応答による回答 737 件、SMS による HP 案内 325 件 メール回答 818 件）（6 月 15 日～7 月 31 日）】		
（5）税務に関する電子申請推進（R8 : 400 千円、R7 : 210 千円、増減 : 190 千円）＜拡充＞		
税証明等のオンライン申請の更なる普及を目指し、啓発ポスターを作成し、区民にオンラインでの手続き等を周知します。		

4 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	R8 : 14,588 千円、R7 : 15,769 千円、増減 : ▲1,181 千円
1 子育て支援事業 こども家庭支援課	R8 : 9,558 千円、R7 : 10,827 千円、増減 : ▲1,269 千円
妊婦とそのパートナー及び子育て中の養育者が抱える育児不安や孤立感を軽減し、安心して子育てできるよう、支援の充実を図ります。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援者・機関と、協働・連携しながら進めます。	
(1) 青葉区子育てネットワーク (R8 : 964 千円、R7 : 904 千円、増減 : 60 千円) <拡充>	
こどもや青少年の育成支援を行っている関係機関が集まる「つながりミーティング」と、地区別の「子育て支援ネットワーク連絡会」を通じて、妊娠期から青少年期までの切れ目ない支援体制づくりを進めます。「出張子育て相談ひろば『おでかけラフル』」は、常設の親子の居場所が少ないエリアと夏場には酷暑対策の一環として、たまプラーザ駅周辺の室内施設を活用して実施します。	
・つながりミーティング：6月、2月実施予定 【第1回：6月 参加者数・22人（8月末現在）】 ・子育て支援ネットワーク連絡会：事務局会議（年3回）、地区別連絡会（11か所×各1回）、関係機関向け研修会（年1回） ・出張子育て相談ひろば：年14回実施予定	
藤が丘第3公園（雨天：藤が丘2丁目B自治会館）3回実施予定：6月・10月・11月 【1回実施 参加者数2人】	
さつきが丘コミュニティハウス 3回実施予定：5月・10月・2月 【1回実施 参加者数4人】	
夏場に室内で子どもが遊べる機会の提供 4回実施予定（プラーザホールbyイツコム）：7月 【4回実施 参加者数466人（8月末現在）】	
	
おでかけラフル@プラーザホール by イツコム (R8.7)	
(2) 赤ちゃん教室 (R8 : 1,268 千円、R7 : 1,090 千円、増減 : 178 千円) <拡充>	
主に第一子の0歳児の親子を対象に、専門職による講話・指導を行います。8年度は一部の会場で父親も参加しやすい工夫を取り入れて実施します。	
・赤ちゃん教室 180回実施予定（18会場×月1回（8月、1月を除く）） 【72回実施 489組参加（8月末現在）】	
・男性保育士による父親支援 16回実施予定（8会場×2回） 【3回、参加者数・8組（8月末現在）】	

(3) 赤ちゃん休憩室 (R8 : 424 千円、R7 : 404 千円、増減 : 20 千円)

地域のボランティアと協働で、市営地下鉄あざみ野駅構内のスペースに親子が休憩等で利用できる場を提供します。

・開所時間：毎週月曜日～金曜日 (10:00～16:00、祝日含む) ※年末年始を除く。

(4) 乳幼児健診ふれあい見守り保育 (R8 : 962 千円、R7 : 1,097 千円、増減 : ▲135 千円)

健診会場にてきょうだい児並びに受診対象者及びその保護者のサポート等を行います (毎月 6～8 回 (年 88 回))。

【37 回実施 ボランティア 84 人参加 (8 月末現在)】

(5) プレパパ・プレママクラス (R8 : 1,407 千円、R7 : 1,319 千円、増減 : 88 千円) <拡充>

出産前から両親共に必要な知識を得て産前産後のイメージができるようになることで、安心して子育てができるようプレパパ・プレママクラスを実施します。父親支援の一環として、プレパパ同士が交流できるプログラムを取り入れます。

・実施予定回数：合計 24 回 (平日年 6 回、土曜日年 18 回)

・実施予定場所：区役所 (平日及び土曜日)、地域子育て支援拠点ラフル (土曜日)

【10 回実施 (平日 3 回 (区役所) 32 組 62 人参加、土曜日 7 回 (ラフル 5 回) 83 組 163 人参加) (8 月末現在)】

(6) こどもの育ち応援事業 (R8 : 1,100 千円、R7 : 1,093 千円、増減 : 7 千円)

見通しをもった育児ができることで、養育者の育児不安が緩和され子どもが健やかに育つことを目指して、養育者向けの講座を実施します。また、両親が外国人の養育者と子どもを対象としたこんにちは赤ちゃん訪問を実施します。

・親育ち講座：年 3 回実施予定 (7 月・11 月・令和 9 年 2 月) 【1 回実施 17 人 (8 月末現在)】

・妊娠期からのメンタルヘルスオンライン講座：年 2 回実施予定 (7 月・11 月) 【1 回実施 43 人】

・小児科医によるオンライン講演会：年 1 回実施予定 (10 月)

・外国人パパママこんにちは赤ちゃん訪問：年 18 件実施予定 【3 件 (8 月末現在)】

・産前産後のからだケア：年 34 回実施予定 【8 回実施 45 人参加 (8 月末現在)】



産前産後のからだケア (産後) (R7.7)

(7) 子育て情報発信事業 (R8 : 3,433 千円、R7 : 4,920 千円、増減 : ▲1,487 千円)

子育て世代が地域とつながり孤立することなく子育てできるよう、地域子育て支援拠点のホームページに、より地域に密着した情報を発信します。また、子育て情報提供員が窓口にて区内の子育て情報を提供します。その際、来庁した父親に対しても情報提供等を行います。

・地域子育て支援拠点ホームページによる情報発信 【HP合計アクセス数 50,783 回 (8 月末現在)】

・子育て情報提供員の配置：月曜日～金曜日 (8:45～17:00) ※休庁日を除く。

再配当事業 地域子育て支援拠点運営事業（こども青少年局）

父親支援や多様な家庭の利用促進を目的に、地域子育て支援拠点を年2回、日曜に開所します。

- ・ラフル（青葉台）、ラフルサテライト（市ケ尾）で各1回
（ラフル：9月実施予定、サテライト：2月実施予定）
- ・通常の開所日同様、10時～16時にひろばを開催
- ・父親を対象とした取組も実施
- ・日曜開所による別日の代休設定は行いません。

2 児童虐待・DV対策事業 **こども家庭支援課** **R8：2,756千円、R7：2,596千円、増減：160千円**

児童虐待・DVの早期発見と迅速な対応を図るため、職員の専門性の向上や関係機関との連携強化を目的とした研修を実施するとともに、弁護士による女性福祉に関する法律相談を行い、適切な支援につなげていきます。また、来庁者が安心して相談できるよう、窓口環境の改善を行います。

（1）児童虐待対策事業（R8：2,386千円、R7：2,226千円、増減：160千円）

- ・保育施設向け研修会：年1回実施予定（1月）
- ・支援強化検討会：年2回実施予定（9月、2月）
- ・見守り保育：週3回程度実施予定（4～3月、ただし年度始め等は週5回実施） 【69回実施、利用人数833人（8月末現在）】

（2）DV専門相談（R8：370千円、R7：370千円、増減：0千円）

月2回（年24回）区役所にて開催 【10回実施 利用件数17件（8月末現在）】

3 市立保育所の地域育児支援事業 **こども家庭支援課** **R8：1,588千円、R7：1,540千円、増減：48千円**

子育てに関する不安や悩みの解消及び家庭における育児力の向上を目的として、市立保育所が、地域の妊婦並びに在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を対象に、ニーズに応じた「つながり」の形成を図る育児支援事業を実施します。また、市立保育所が地域に開かれた存在となり、地域全体で子育て世帯を支える風土を醸成します。さらに、猛暑により通常の園庭開放が困難となる8月には、ケアプラザでの出張園庭開放を通じて親子が集える場を提供します。

市立保育所の地域育児支援事業（R8：1,588千円、R7：1,540千円、増減：48千円）＜新規＞

- ・園庭開放：美しが丘保育園 週5日、荏田保育園 週5日、奈良保育園 週2～3日、すすき野保育園 週3日
【園庭開放 941人利用（8月末現在）】※出張園庭開放込み
- ・出張園庭開放 in ケアプラザ：5回実施（8月）、プラザホールbyイツコムでも2回追加実施（8月）
【出張園庭開放 153組 319人利用（8月末現在）】
- ・育児講座：4園合計 年15回程度実施予定
- ・育児相談：4園で実施予定（美しが丘保育園・荏田保育園 週5日、奈良保育園・すすき野保育園 週1日） 【育児相談449件（8月末現在）】
- ・給食体験：4園合計 年40回程度実施予定 【給食体験12回14食（8月末現在）】
- ・Instagram「おかわりなしちゃんねる」配信：月4回程度実施予定 【Instagram配信回数 20回（8月末現在）】
- ・職員向け動画編集等研修：年2回実施予定
- ・子育て支援イベント『Aonico ひろば』の開催：年5回程度実施予定 【Aonico ひろば 2回開催（8月末現在）】
- ・潜在保育士向け保育士体験：6月から開始、随時受入
- ・青葉区独自保育士就職相談会：1回（10月）

4 青少年育成事業 こども家庭支援課 R8：686千円、R7：806千円、増減：▲120千円

学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図ります。また、地域における連携のもとでの支援を一層促進します。これらにより、地域力の充実・強化を図り、活力あるまち・さらなる魅力的なまちづくりと将来への継承に寄与します。

（1）保護者向け講演会の実施（R8：200千円、R7：200千円、増減：0千円）

小1の壁の不安軽減のため、個別相談やキッズクラブ・児童クラブの体験もできる
保護者向け講演会を開催します。（9月）

（2）多世代交流等による青少年育成事業（R8：486千円、R7：606千円、増減：▲120千円）

青少年の地域活動拠点と連携し、中学生・高校生・大学生ボランティアによる小学生を対象とした学習支援「みんなの学習室」の実施（夏休み、冬休み、春休み）を通じ、多世代交流の機会を提供します。

- ・実施場所：青少年の地域活動拠点、地域ケアプラザ、地区センター
- ・広報よこはま7月号で参加者募集



みんなの学習室（R7.8）

令和9年度 青葉区予算編成の基本的な考え方(案)

《区の基本目標》

「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」

《予算編成の基本的な考え方》

「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」であり続けるため、区民の皆様には暮らしやすさやまちへの愛着をさらに感じていただき、区外の方には魅力的で選ばれるまちである必要があります。

選ばれるまちであるために、本年6月に策定された中期計画の施策を軸に、決算や執行状況、アウトカム指標に基づく効果検証を踏まえつつ、以下の4つを予算の柱として、令和9年度青葉区個性ある区づくり推進費予算編成を進めます。またデジタルプラットフォームに寄せられた意見の活用や財源確保にも取り組みます。

《予算の柱(案)》

◇安心・安全に暮らせる持続可能なまち

区防災計画に基づく地域防災力向上を目指す防災の街づくりや、地域の自主的な防犯活動の支援、交通安全啓発活動の取組などにより、将来の世代にわたって誰もが暮らしやすく安心して安全なまちづくりを進めます。

◇誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち

住民、事業者、関係機関が協働して地域課題に取り組むとともに、身近な支え合いの仕組みづくりや、日常生活での健康づくり行動の実践を支援することで、誰もが健康で自分らしく活躍し、つながり、支え合う地域づくりを推進します。

◇魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち

横浜グリーンエキスポを契機に、区内の緑化活動の拡大を図るとともに、地域の魅力を高めて発信するなど、花・緑・農など青葉区が誇る特色や資源を生かした取組を進めることにより、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。

◇安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち

養育者等の孤立感や育児不安を軽減する子育て支援事業の充実を図り、誰もが安心して出産や子育てができ、未来を創る子どもたちが社会との関わりの中で健やかに成長できる環境づくりを推進します。